

平成28年度

事業報告書

(自) 平成28年 4月 1日

(至) 平成29年 3月31日

社会福祉法人 北海道リハビリ

目 次

1	事業概要	1
2	事業実施状況（拠点別）	3
	2-1 法人本部	
	2-2 リハビリー・クリーナース	
	2-3 リハビリー・おおぞら	
	2-4 リハビリー・エイト	
	2-5 札幌ワークセンター	
	2-6 セルプさっぽろ	
	2-7 エルフィンホーム	
	2-8 陽だまり	
	2-9 ポプルス	
	第3期経営推進中期計画進捗状況	17
3	理事会・評議員会等	30
4	職員研修等	35
5	行事・事業等	44
6	主な来所者（施設見学）	50
7	職場実習（受入れ）	53
8	施設設備整備実施報告	56
	8-1 実施状況総括表	
	8-2 事業所別実施状況	
9	組織図	61
10	利用者等状況報告	62

1. 事業概要

<事業概況>

平成28年度の日本経済は概ね順調に推移したが、高齢化と生産年齢人口の減少により、特に労働集約型の産業分野において、人手不足と人件費の高騰が顕著となってきた。福祉分野においても人材の確保が困難をきわめ、当法人にとっても重い課題となっている。このため、まず4月に人事考課をより昇給に反映させる新給与制度を導入。10月には課長級職員を中心とした「人材委員会」を法人内に設置し、職員等の処遇改善と人材確保策を集中検討した。この人材委員会の報告をベースに、2月には外部理事を委員長とする「人件費委員会」を開催し、若手職員の確保を最大の目標に、処遇改善と大学新卒採用のための初任給アップの方針案を決定した。これらの方針案は、いずれも後日の理事会で承認された。

北海道リハビリリーにとって、平成28年度最大の事業は、長年の懸案であったリハビリリー・クリーナースの老朽改築となった。国庫補助金が当初予定の3分の1に減額されたため、自己資金を大幅に積み増す厳しい資金計画となったが、28年6月に工事を開始し、29年2月末に建物部分の引き渡しを受けた。10月にはすべての工事が終わる予定で、昭和38年創業時の建物が消えることになる。また同様に補助申請をしていた新グループホームは、2月に交付内示があり、4月に工事開始、10月に開設の予定である。

社会福祉法人改革を目的とする改正社会福祉法の一部施行(28年4月)及び本施行(29年4月)に対応するため、法人の基本理念と行動規範を改正した。さらに経営ガバナンス強化のため、定款の改正と法人諸規程の整備を行った。また29年度から公認会計士による会計監査が義務付けられ、本監査の前提として予備調査が必要であるため、7月に「会計監査人選定委員会」を開催し、予備調査を行う会計監査人に「監査法人ライトハウス」を選任し、12月から調査が実施された。さらに内部管理体制を強化するため、従来の「施設長等連絡会議」の名称を「経営会議」に、「経営戦略会議」を「法人連絡会議」に改めた。特に「経営会議」は、理事会より授権された業務執行上の諸課題について、執行方針を決定する場と位置付けた。

平成28年は、訪日外国人が2千万人を突破し、過去最高を記録したが、いわゆる爆買いブームは去り、外国人観光客の消費も落ち着いてきた。特に北海道では、8月の台風、12月の大雪の影響で入り込みが落ち、ホテルの稼働率を下げる結果となった。こうした状況からクリーニング部門の売上は前年比微増の水準に推移した。また印刷部門は、市場の縮小傾向が止まらず、前年比△39,204千円・6.7%の売上減となった。就労支援事業全体としては前年比1.4%の減に終わった。

福祉事業においては、7名の利用者を一般就労として送り出した一方で、法人全体としては利用者数、利用率ともに上昇し、堅調な収入を確保することができた。また、より高い福祉サービスを目指して、リハビリリー・エイトにおいて福祉サービス第三者評価を受審した。

財務面では、クリーナース改築の費用に充てるため、福祉医療機構と銀行から借り入れを行なった。コスト面では、重油価格が12月まで低水準にあり、当初予算に対して9,500千円の低減効果があった。

<決算概況>

1. 事業活動収支

就労支援事業の業績は、印刷事業の低迷が影響し、法人全体の就労支援事業収益は、2,221,719千円(前年比△31,200千円・98.6%)と減収を余儀なくされたが、対する就労支援事業費用も2,139,203千円(前年比△37,217千円・98.3%)と低減したため、就労支援事業のサービス活動増減差額は、82,516千円(前年比+6,017千円・107.9%)と前年実績を上回る利益を確保した。

福祉事業の業績は、各施設・事業所の障害福祉サービス等事業収益及び児童福祉事業収益ともに概ね堅調に推移し、法人全体の福祉事業収益は、880,802千円(前年比+13,762千円・101.6%)と前年比増となった。一方、福祉事業の費用も人件費が約6%増加した影響等により、786,801千円(前年比+22,508千円・102.9%)と前年比増となったことから、福祉事業のサービス活動増減差額は、94,001千円(前年比△8,746千円・91.5%)となり、前年比減の実績で終えた。

これらの社会福祉事業に、公益事業、収益事業を合算した法人全体のサービス活動増減差額は、175,108千円(前年比△3,113千円・98.3%、予算比+31,152千円・121.6%)を計上し、前年比では減となったものの、年度予算を上回る利益を得て28年度を終えた。

2. 資金収支

事業活動による収支の状況は、法人全体の事業活動収入が3,112,991千円(予算比△61,633千円・98.1%)、対する事業活動支出が2,735,863千円(予算比△47,213千円・98.3%)、これにより事業活動資金収支差額は、377,128千円(予算比△14,420千円・96.3%)となり、予算に比して減少した。

施設設備等による収支の主なものとしては、リハビリ・クリーナースの施設整備に関わる設備資金借入金収入650,000千円、同施設整備分を主とする固定資産取得支出1,314,130千円などを計上した。その他の活動による収支の主なものとしては、同施設整備費への充当分を含む積立資産取崩収入を412,081千円計上した。

これらにより、当期資金収支差額は、46,994千円を計上し、当期末支払資金残高は、662,730千円(前期末支払資金残高615,736千円)となり、予算比△9,449千円の資金減少となった。

法人単位の事業活動収支

単位:千円(税抜)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比
サービス活動増減の部	収益				
	就労支援事業収益	2,221,719	2,252,919	△31,200	98.6%
	福祉事業収益	880,802	867,040	13,762	101.6%
	公益事業・収益事業収益	5,655	6,217	△562	91.0%
	サービス活動収益計	3,108,176	3,126,176	△18,000	99.4%
	費用				
	就労支援事業費用	2,139,203	2,176,420	△37,217	98.3%
	福祉事業費用	786,801	764,293	22,508	102.9%
公益事業・収益事業費用	7,064	7,241	△177	97.6%	
サービス活動費用計	2,933,068	2,947,954	△14,887	99.5%	
サービス活動増減差額	175,108	178,221	△3,113	98.3%	

2. 事業実施状況（拠点別）

2-1 法人本部

1. 法人運営

- ① 改正社会福祉法に係る「社会福祉法人制度改革の施行に向けた留意事項(経営組織の見直し)に基づき、適正な事務手続きと事業執行体制の構築に努めた。
 - (7) 会計監査人選考委員会を設置し、予備調査を行う会計監査人を選任するとともに、適正なプレ監査の実施に努めた。
 - (8) 定款変更を行ない、評議員選任・解任委員会を設置し、適正な新評議員候補者の選任手続きに努めた。
 - (9) 定款、経理規程、稟議規程等の改定作業及び定款施行細則、評議員会運営規程、理事会運営規程、職務権限規程、組織規程等の制定作業を進めるとともに、組織体制の整備に向けた準備に努めた。
- ② 各種法令改正・施行等に伴う、規程及び体制等の適時見直しと従業員への周知徹底を図った。
 - (7) 改正社会福祉法の成立や障がい者に関する様々な法整備が進むなど、社会福祉を取り巻く新たな動向に合わせて、5月に基本理念を「利用者への支援」、「地域福祉への貢献」、「法人の健全な発展」の3点を強調し、解りやすい内容に表現を整理するとともに、1月に行動規範を全面的に見直し、社会福祉法人職員として遵守すべき基本的事項について、福祉事業職員のみならず、全ての職員に解りやすい内容に改正した。
 - (8) 4月1日の障害者差別解消法の施行と同時に、「障がい理由とする差別の解消に関する相談窓口」を設置し、利用者及び家族等に対する相談体制の強化を図った。
 - (9) 4月1日から女性活躍推進法の全面施行に伴い、法人の女性の活躍に関する状況把握と課題分析を実施し、女性活躍推進に係る行動計画と一般事業主行動計画を策定するとともに、北海道労働局へ届出を行った。
 - (10) 労働安全衛生法の一部改正を受け、ストレスチェックと面接指導の実施等が義務付けられたことから、メンタルヘルス不調を未然に防ぐ仕組みとして、産業医と連携したストレスチェック体制を整備した。
- ③ 従業員の処遇及び職場環境改善に向けた様々な検討と取り組みを行った。
 - (7) 人事考課制度に基づく新たな給与制度を構築し、給与規程の職員本給ならびに職務手当の一部改定を行い、4月1日より導入した。
 - (8) 従業員の定年退職時期について、誕生月の定年退職による不都合を解消する為に、平成28年度より、誕生月から年度末へ延長した。
 - (9) 平成28年より8月11日「山の日」が国民の祝日に定められたことから、休日数の見直しを図り、指定休日を2日増とした。
- ④ HR未来委員会及びHR人材委員会を設置し、法人の発展的未来や人材の確保・育成・処遇改善等の実現に向けた検討を行うとともに、人件費委員会を設置し、初任給の改善に向けた検討を行い、経営会議に提言した。
- ⑤ 地域の福祉ニーズを踏まえた社会貢献活動として、小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業や生活困窮者就労訓練事業への積極的な取り組みに努めた。(P13セルプさっぽろ1-⑥参照)

- ⑥ 利用者と地域住民とのふれあいの場とした第43回ボランティア・カーニバルを開催した。
＜開催日：平成28年8月28日(日)、来場者他：約1200人＞
- ⑦ 省エネ対策の一環として、デマンド値の抑制や法人施設内電灯のLED化を推進し、電気使用量の削減を図った。また、各施設の電力やボイラー等の使用量を把握し、省エネルギー推進委員が中心となってエネルギー削減方法の提案・周知に努めた。
- ⑧ リハビリ・クリーナース老朽改築に向け、平成27年度に社会福祉施設整備費補助申請書を提出し交付決定されたことから、福祉医療機構の福祉貸付事業へ借入申込みを行い、貸付を受けるなど、健全な資金計画の策定及び執行に努めた。また、適時北海道または福祉医療機構に対し、相談・協議・報告を行い、適正な事務処理に努めた。
- ⑨ 平成28年度に不採択となったグループホーム新棟建築に係る国庫補助協議書について、建設費の増に伴う事業費変更を行い、平成29年度事業として再提出したが、平成28年度補正予算事業として内示を受けたことから、事業実施に向けた準備を進めるとともに、関係機関との連携を密にし、適正な事務処理に努め、補助金交付決定を受けた。
- ⑩ 神奈川県相模原市の障害者支援施設において発生した殺傷事件を受け、これまで以上に利用者の安全確保が求められることから、入所系4施設(リハビリ・エイト、札幌ワークセンター、エルフィンホーム、陽だまり)において、防犯対策の強化に係る整備費国庫補助事業の申請を行い、交付決定を受けた。
- なお、陽だまりは、平成28年度に実施(P15陽だまり1-⑦参照)し、他3施設は、平成29年度に実施することとなった。また、セルフさっぽろにおいても平成29年度予算の国庫補助申請を行った。

2. 施設運営・福祉事業(共通)

- ① 障害者総合支援法施行3年後の改正内容について、社会就労センター協議会(セルフ協)等を通じ、情報収集に努めるとともに、経営会議等において、情報共有を行い、適正な施設運営と福祉サービスの提供に努めた。
- ② 事業運営における問題点の把握と良質かつ適切な福祉サービスの提供を図るため、福祉サービス第三者評価の計画的な受審に取り組んでおり、平成28年度はリハビリ・エイトが受審した。(P9リハビリ・エイト1-⑥参照)
- ③ 法人の基本理念に基づき、理事長名の文書「利用者ファーストの精神で」を法人各拠点に掲示するとともに、法人広報誌に掲載するなどして、全職員・スタッフに対し、職務上で関係法令や規範を遵守するよう徹底を図った。
- ④ サービス管理責任者連絡会議を毎月1回開催し、個別支援計画の策定や援助技術等の向上を図るとともに、障害者総合支援法や福祉制度に係る情報共有、各施設間の連携・協力による適正な福祉サービスの提供、利用者支援の充実と質の向上に努めた。
- ⑤ 個別支援会議を毎月1回開催し、各施設における利用者の自立に向けた具体的な成功事例や困難事例等の報告や協議・検討を実施し、職員の資質向上及び人材育成を図るとともに、専門性を活かした質の高い福祉サービスの向上に努めた。
- ⑥ 高等養護学校及び相談支援事業所等の関係機関との連携強化を図り、各事業のPR及び施設見学、実習の積極的な受け入れを行い、利用者の安定確保と利用率の向上に努めた。
- ⑦ 地域福祉関係機関や地域との情報交換やネットワーク構築を図るため、西の里たすけあい会議、北広島市自立支援協議会、石狩管内地域未来づくり会議、石狩圏域障がい者雇用支援ネットワーク協議会等に参画した。

- ⑧ JR新札幌駅(北広島施設)及び地下鉄福住駅(札幌ワークセンター)への定時送迎の他、利用者ニーズに対応したドアtoドア送迎を各施設において実施し、送迎サービスの充実に努めた。
- ⑨ 法人広報誌を4月、7月、10月、1月に発行し、関係施設や実施機関等に対し、法人の運営方針や実施事業等の広報・PRに努めた。なお、夏号(7月)より、名称を「welfare」から「かがやき」に変更した。また、各施設において、利用者の日頃の作業状況や生活状況を掲載した「施設だより」を発行し、利用者家族等への情報提供に努めた。
- ⑩ 苦情相談委員会議を四半期に1回開催し、利用者や家族等からの苦情や要望の申し出に対し、利用者の意向や立場、障がい特性等に配慮した迅速・適切な対応に努め、苦情相談委員からの意見・助言等を踏まえて、支援の改善及び向上を図った。

苦情受理件数 1件

処理状況 リハビリ・エイト利用者A氏から、「他の利用者の言動等に対する不満や自治会行事に対する施設側の協力に対する不満」等の苦情の申し出があった。A氏と面談し、主訴について確認すると「何度も他の利用者の言動等に対する不満を伝えてきているが改善が見られない。また、自治会行事に対し、施設側が独善的に物事を決めていくように感じて不満があり、納得がいかないことから、苦情相談委員会にもこの思いを伝えてほしい。」とのことであった。施設側としては、利用者から日常生活上の常識やルールを逸脱するような言動があった場合は、その善悪等を説明し、理解を促し、言動を改めるよう指導・助言を継続して行い、利用者の皆さんができるだけ気持ちよく生活できるように努めていきたいと考えていること。また、自治会行事への支援・協力については、利用者の安全性や介助・支援の度合い、利用者職員とのマッチング、福祉車両の適正運行など様々なことを考慮する必要があるため、支援者が関わる部分については、施設側主体で対応する必要があると考えていることを説明した。A氏が納得しなかったのであれば説明不足であり、申し訳なかったと謝罪し、今後は出来る限り自治会役員の意見も汲み取った形で進めていく旨を伝えるとともに、苦情相談委員会議に報告することを併せて説明する等、A氏の主張や心情に十分配慮しながら、誠実に対応した結果、A氏の一定の理解を得た。なお、10月実施予定の苦情相談委員会議において経過報告を行い、引き続きA氏から申し出のあった他の利用者の言動等に十分注視しながら、適切な支援に努めていくこととした。

- ⑪ 総合防災対策委員会において、各施設での防災対策の取り組み状況の報告を行うとともに、火災発生及び大規模地震を想定した消火・避難訓練を実施し、防災意識の高揚、非常時の連携協力体制の強化に努めた。

<防災訓練実施状況>

5月25日	クリーナース・おおぞら・地域福祉推進室	7月5日	エイト
8月5日	エルフィン	8月9日	エイト(入所)
8月25日		8月25日	エイト
9月12日	やまはな	9月13日	セルブ
9月14日		9月14日	ワーク
10月7日	陽だまり	10月12日	エイト
10月28日		10月28日	陽だまり
3月22日	クリーナース・おおぞら・地域福祉推進室		

- ⑫ 給食に係る利用者満足度向上を図るため、北広島3施設及び札幌ワークセンターの給食委託業者の見直しを行い、適正な契約事務に努めるとともに、新しい給食委託業者への円滑な移行準備に努めた。

2-2 リハビリ・クリーナース

1. 施設運営・福祉事業

- ① リハビリ・クリーナース作業棟の老朽改築工事は、6月15日に着工し、概ね工程表通り進行し、予定期日の2月28日に建物引き渡しを受けた。工事期間中は、定例会議における進捗状況の確認及び随時現場視察を行い、状況把握に努めるとともに、作業環境及び衛生環境の改善と生産性及び作業効率の向上に向けた検討を進めた。
- ② 新作業棟内に設置した福祉避難スペースについて、北広島市及び地域住民との連携や周知を図るため、平成29年度の機械移設工事完了後に見学会等を開催することとして、準備を進めた。
- ③ 新作業棟の引き渡し後の機械設備の導入及び移設工事の実施に向け、適正な契約事務に努めるとともに、円滑な作業工程の策定など施工準備及び施工作业に努めた。
- ④ 新作業棟の老朽改築に伴う平成29年度からの利用定員増を踏まえ、自衛隊地域援護センターやハローワーク並びに相談支援事業所との連携を図り、就労移行支援事業の開始に向け、見学者12名、実習者7名の受け入れを行い、定員充足に努めた結果、3名の新規利用に繋がった。また、おおぞらから移行する利用者の受入体制の構築に努めた。
- ⑤ 高齢化が進行している利用者に対し、将来的な介護保険の利用も踏まえ、家族や高齢者支援センターとの連携を図るとともに、北広島市保健福祉部高齢者支援課及び福祉課担当者、法人職員の5者によるケース会議を実施し、個々のニーズや障がい特性に応じた作業形態の構築と現状に対応した生活支援の実施に努めた。
- ⑥ 利用者の健康診断結果に基づき、要再検者への通院促進や食事改善等の必要な情報提供を行い、健康維持管理に努めた。また、障がいの重度化が進行中の利用者の現況や健康状態の把握に努め、医師の所見や利用者家族の意向を踏まえ、快適な施設利用の推進に努めた。
- ⑦ 職員には、積極的に外部研修への参加を奨励し、研修で得た知識及び資料は、内部研修会で活用し、研修参加者が発表して情報の共有を図った。また、全従業員を対象に、虐待や差別のない施設運営を図るとともに、多種多様化する障がい特性への対応を図るため、手話技術講習を盛り込んだ勉強会を実施した。
- ⑧ 利用者と良好な関係の継続を図るため、自分を客観視することを目的にアンガーマネジメント診断を実施し、「利用者ファーストの精神」の実践に努めた。
- ⑨ 西の里地域たすけあい会議、専門職の集会、各種講習会、各施設行事の相互訪問、西の里夏祭りの運営等を通じて、各福祉事業所等との連携及び地域との交流を深めた。また、近隣小学校の総合学習(車椅子体験学習)に法人内他施設と共に参加し、地域貢献活動に参画した。

- ⑩ 軽作業事業拡大を図るため、北広島市きた高齢者支援センターが主催する高齢者を対象とした各種セミナーに参加し、参加者に当該事業を紹介した。

2. 就労支援事業

- ① 次世代を担う若手職員と中堅職員の人材育成と同業他社との差別化(高品質化)に向けた専門的技術の向上を図るため、洗剤メーカーとのタイアップによる内部研修会を実施した。
- ② 作業効率向上を図るため、クリーニング作業工程の効率的な動線の確保及び適切な洗い処理による再洗い品の抑制に努めるとともに、機械メンテナンス等を各部門で実施した結果、超過勤務時間が前年対比4700時間の削減となった。
- ③ 新作業棟稼働後の物量増加への対応を図るため、ホテルリネン作業の人員状況を踏まえて、適切な人員配置の検討を進めた。
- ④ 実績及び状況報告(クリーニング事業部)
- (ア) ホテルリネンは、予算対比98.1%、前年対比97.0%となり、予算及び前年実績を上回る事ができなかった。要因は、外国人観光客の全体増はあるものの、一昨年経験した爆買を目的とした団体観光とは変わってきており、札幌市内の得意先ホテルの稼働率は、前年を上回る状況ではなかった。また、8月に発生した道東を中心とした台風及び12月中旬の大雪の影響などが、繁忙期の売上が目標に達しなかった要因と思われる。なお、数的増減とは別に、リネン単価の値上げを順次実施しながら売上の増進に努めていく。
- (イ) ホームクリーニングは、予算対比97.3%、前年対比99.4%となり、予算及び前年実績を上回る事ができなかった。市場の低迷は改善する事がなく、現状も厳しいなかでの運営であることから、外注先等の協力を得ながらセール等の強化を進めた。なお、平成28年度は収益が望めない直営店舗1件を閉鎖し、全体的な収支状況の見直しも同時に図った。
- (ロ) ホテル産業(下洗い)は、予算対比97.8%、前年対比102.9%と前年実績を上回る事ができたが、予算達成とはならなかった。要因は、札幌市内において、ビジネスホテルの下洗いを主に、新規受注を含めた営業活動を行ったが、大きな売上げの伸びはなかった。ただし、ホテル産業の売上げ貢献度は高いことから、新規受託を含めた営業強化を進めることとした。
- (ハ) 商品販売は、施設及び学校関係へのカーテン販売に注力してきたが、新規獲得までには至らなかったことから、地方等含めた販売強化を行った
- (ニ) リネン品資材は、予算対比92.3%、前年対比74.9%となり、棚卸の徹底及び必要最小限の資材ストックなど、適正在庫及び在庫管理の徹底により、無駄のないリネン管理を図ることができた。
- (ホ) 効率的なルート編成の見直しは、直営ルートの細分化により担当人員の業務改善を図る事ができ、適材適所への移動と効果を上げる事ができた。
- (ヘ) 業務体制見直しによる少数精鋭体制の構築に努めたが、求める人員確保が非常に難航しており、募集内容の見直しなども検討し再募集をしたが、確保ができず、体制見直しまでは至らなかった。(クリーニング事業部共通事項)

2-3 リハビリー・おおぞら

1. 施設運営・福祉事業

- ① 専門的技術及び技能の向上と人材育成を図るため、職員2名が社会福祉主事任用資格取得に向けた講習を受講した。
- ② 障がい特性に合わせた専門的技術の習得と個別支援計画策定技術の向上を図るため、特に有益と思われる外部研修への積極的な参加に努めた。
- ③ 相談支援事業所等との連携を図り、情報交換を通じての利用者獲得への積極的な取り組みにより、利用者数の増加に繋がった。
- ④ 一般就労に必要なコミュニケーション能力の向上や履歴書作成技術の修得を図るため、DVD等を活用した勉強会を実施するとともに、他施設との情報交換等を行い、積極的な支援に努めた。また、ハローワーク等との連携強化を図り、就労継続支援A型利用者を含めた利用者数は、前年度末対比2名増の110名となった。
- ⑤ 就労継続支援A型の施設利用率は、目標値90%に対し95%となり目標を達成したが、就労継続支援B型は、目標値100%に対し90%程に留まり、目標達成には至らなかった。
- ⑥ 毎朝実施している、職制や支援員等によるミーティング等を活用して情報交換を行い、質の高い福祉サービスの提供が出来る様、情報共有に努めた。
- ⑦ 多種多様化する障がい特性に合わせ、適時利用者との面談時間を設け、相談支援体制の強化に努めた。

2. 就労支援事業

- ① リネン品の適正な使用方法の指導や適正在庫の確認により、当初予算に対し購入費削減となった。
- ② エネルギー削減を図るため、省エネタイプの機器を選定・導入を行うとともに、機器設備の情報収集に努めた。
- ③ 作業の効率化を図るため、作業場内での職員及び利用者の配置変更を行うとともに、洗剤等の見直しにより、再洗いの軽減に努めた。また、前年度から行っているおおぞら新工場の一斉指定休日数26日を予定通り実施した。
- ④ 機械設備の計画的なメンテナンスの実施に努めた。
- ⑤ 効率的かつ効果的な営業展開が可能な体制の構築を図るため、退職者補充の求人等を行ったが、十分な人材確保には繋がらなかった。
- ⑥ 有給休暇の取得促進に向けた生産体制の構築を図ったが、十分な人材確保が出来なかったことから、取得率増には至らなかった。
- ⑦ 実績及び状況報告(クリーニング事業部)
 - (7) 病院寝具は、予算対比106.4%、前年対比102.3%と予算及び前年実績を上回る事ができた。地方病院の閉院もあったが、他取引先の価格改定及び資材変更に伴う価格の見直しを行なうとともに、新年度新規受託物件への営業強化に努め、新規受託へ繋げることができた。

- (イ) 白衣リースは、予算対比100.2%、前年対比100.6%と予算及び前年実績を上回る事ができた。更新時における価格見直しを進めるとともに、白衣リネン投入に伴う、製品の一部再利用も拡充していることから、購入費用の圧縮にも繋がった。
- (ロ) セットリネンは、予算対比96.7%、前年対比93.7%と予算及び前年実績を上回ることができなかった。セットリネンは、タオル及び下着類をセットした品目であるが、最近は日用品を含めた商品に変わってきており、解約及び使用減に繋がっていることから、専門会社との提携を含めた検討及び営業展開を行った。
- (ハ) 商品販売は、予算を達成する事ができなかった。要因は、主力としていた紙オムツ販売の大口が3件解約となったことから、月額約55万円の減額によるものであるため、施設販売等を強化し販売先の拡充に努めた。
- (ニ) リネン資材は、予算対比97.1%、前年対比101.8%となった。棚卸の徹底及び必要再小限の資材ストックなど、適正在庫及び在庫管理の徹底により、無駄のないリネン管理を図ることができた。
- (ホ) ダイアパー集配ルート の物量増により、効率的な集配ルートの再編成を行ったが、配送費用の価格維持は難しく、約10%値上げを含めた再契約を行った。
- (ヘ) 業務体制見直しによる少数精鋭体制の構築に努めたが、求める人員確保が非常に難航しており、募集内容の見直しなども検討し再募集をしたが、確保ができず、体制見直しまでは至らなかった。(クリーニング事業部共通事項)

2-4 リハビリー・エイト

1. 施設運営・福祉事業

- ① 特別支援学校や福祉関係機関等への利用促進活動を継続するとともに、施設見学・体験利用等を積極的に実施し、定員充足と利用率の向上に努めた。
〈新規利用者3名・実習11件(14名)・施設見学38件(599名)〉
- ② 年間研修計画に基づき、階層別・職種別及び個々のキャリア・スキル等に応じた外部職員研修へ積極的に参加するとともに、制度改正や実務に関わる内部研修等を通じて、利用者支援に対する共通認識の確保と専門性、援助技術等の向上に努めた。
- ③ 施設入所支援事業・生活介護事業
 - (7) 障がいの重度化、高齢化、疾病等により、日常生活全般において介護を要する利用者が増えていることから、個々の心身状況や疾病等に配慮した支援を提供し、残存能力の維持と情緒の安定等を図りながらQOLの向上に努めた。また、介助入浴を安全且つ快適に提供するために、機械浴槽の導入に向けた情報収集と検討を行った。
 - (イ) 身体機能の維持回復、疾病等の予防、持病の改善等を図るため、個々の心身状況に応じた看護ケアや栄養ケアを提供するとともに、通院支援や身体機能訓練のサポート等を行い、ADLの低下予防と日常健康管理に配慮した支援を継続した。

(f) 援助技術の向上を図るため、支援の実践やOJTを通じた教育研修を行うとともに、支援ケースの検証・評価等を通じて介護・介助技術、ケアプラン作成、相談支援業務全般に関わる専門性の向上を図った。また、関連する外部研修への参加や内部勉強会を実施し、職員個々のスキル向上と組織的な介護人材の育成に努めた。

(g) 日中活動プログラムについては、習字や切り絵、手工芸、菜園作りなどの創作的活動を継続実施したほか、社会見学やイチゴ狩りなどの施設外レクリエーション、創作ゲーム等の余暇的活動を実施し、個々の心身状況や利用者の意向を反映したプログラムの提供に努めた。

④ 就労継続支援B型事業

(f) 多様化する利用者ニーズや障がい特性、心身状況等を踏まえて、作業訓練内容・作業訓練時間・作業訓練環境などに配慮した就労支援を行うとともに、個別面談を適時実施し、精神的・情緒的安定を図りながら、就労に関わる基本的習慣の確立と作業意欲・作業能力の維持向上に努めた。

(g) 障がい状況や家庭環境、地域状況等を考慮し、自力での通所が困難な方に対するドアtoドアの個別送迎を拡充するため、各課連携による送迎協力体制づくりを進めた。(個別送迎実施者：13名)

⑤ 就労移行支援事業

一般就労に向けたアセスメントや面接訓練、職場実習、求職登録、就労支援プログラム(SST)等を実施するとともに、利用者の意向や家族との定期的な連絡及び相談を通じて、一般就労に対する理解や就労意欲の向上に努め、2名が一般企業へ就職した。また、一般就労した方への職場訪問や相談支援等の定着支援を継続した。

⑥ 福祉サービス第三者評価の受審

福祉サービスの質の向上に向けた取り組みとして、福祉サービス第三者評価を受審した。上半期においては、評価機関の選定、職員・利用者への説明周知、評価機関による利用者アンケート及び聴き取り調査等を実施するとともに、施設内に「自己評価委員会」を設置し、福祉事業職員全員参加による自己評価に取り組んだ。下半期では、職員合議による自己評価の決定と評価機関への提出を経て、訪問調査、管理者及び職員へのヒアリング、サービス提供等に関する書類検査等を順次実施し審査を終えた。6月には北海道福祉サービス第三者評価事業推進機構から評価結果が通知される予定である。

2. 就労支援事業

印刷市場の規模縮小傾向が続いている中で、就労支援事業においては、近年の事業状況、需要動向、多様化する顧客ニーズ等のほか、福祉事業を取り巻く制度や環境、利用者の障がい特性の多様化等を踏まえて、第3期経営推進中期計画においては、当面は現有の大型オフセット印刷ラインを主軸に据えながらも、物件単価の減少や少量・多品種化・短納期化等に即してオンデマンド印刷との生産比率の調整を図るとともに、営業部門においては、営業活動の効率化や提案型営業を積極的に推し進めながら、製販部門が連携して受注の獲得と収益改善に努めた。

また、今後の事業展開のあり方等を検討するワーキンググループを3月に立ち上げ、印刷事業の方向性や就労支援事業のあり方等について、具体的方針を策定するための議論を始めた。

売上高は、第1四半期は国政選挙関連の特需や大型新規物件等を受注したことから好調な滑り出しを見せたが、第2四半期は商業印刷市場の想定以上の鈍化や顧客事情による印刷物の製作中止、ロット減少等の影響を受けて計画額に達しない状況が続いた。このため、補正予算において当初予算比1.7%減の下方修正を行い下期に望んだが、その後も市場ニーズは好転せず、3月期にやや持ち直したものの各月計画額を達成するに至らず低調に推移した。

売上高は、予算比△26,526千円・95.3%、前年比△39,204千円・93.3%と大きく減少した。

① 営業部門における取り組み～受注獲得と収益確保

(7) 営業部門においては、安定的な受注を得られるよう定期発行物の獲得に向けた受注活動を行うとともに、月次・年次単位における納期の平準化を図り、極端な生産集中による生産ラインへの過負荷と生産コストの上昇を抑制するため、受注アプローチにおいて可能な限り工程調整・納期調整に努めた。また、リピート物件・定期物件に対する早期アプローチを継続し、再受注の確保と受注・生産計画の効率的な管理に努めた。

(4) 不採算物件の精査を継続するとともに、受注額・収益性・潜在シェア等を基礎とした顧客分析を行い、シェア拡大と収益が望める得意先への深耕活動を進めている。また、オンデマンド印刷の積算基準を見直すとともに、適時顧客との価格値上交渉を進め、適正価格での受注に努めた。既存取引顧客でのシェア深耕・拡大実績は、売上757件・売上高81,034千円で前年対比94.6%と減少しながらも一定の成果を得た。また、売上総件数は12,017件・前年対比93.2%となり、1物件当たりの平均受注単価も45,000円・前年対比△204円・99.5%と下降傾向を示した。

(7) 新規顧客開拓推進を掲げて新たな得意先の獲得に努めているが、期中での営業員1名の減員や顧客ニーズの多様化に伴う受注物件の少量・多品種化等により既存顧客対応に時間を要し、営業展開が十分に図れなかったことから継続課題とした。新規取引顧客数は100件、受注額は14,216千円と前年金額比69.9%と低迷した。

(4) 紙媒体の取扱高が減少傾向にあることを踏まえ、単純印刷に限定しない附帯物件の製作や周辺役務、電子コンテンツ等を含む受注に努めた。(封入・区分け・発送業務、名簿等のデータ処理、アンケート集計、ノベルティ(景品広告)物品製作、社内サーバー管理、動画配信、スクリーン印刷など)

(4) 印刷業務管理に関わる新システムの導入は、平成30年度に実施する予定としていたが、平成28年2月に受注・販売管理に関わる基幹システムを前倒して導入し、平成29年度からの稼働に向けて試験運用を開始した。

② 生産部門における取り組み

(7) 小ロット・小型物件・短納期のニーズが増加する近年の受注状況を踏まえ、また、多様化する顧客ニーズに柔軟に対応し、より付加価値を生み出し易い機動力のある生産構造にするため、オフセット印刷からデジタル印刷へ生産ラインを計画的に移行することを含めた検討を継続した。

(4) プリプレス部門においては、制作から出力までの生産体制を強化するために、組版編集用サーバーの更新をはじめ、連動する中型カラーPOD(プリントオンデマンド)印刷機1台の新規導入、モノクロPOD印刷機1台の更新等を実施し、多様化する顧客ニーズや需要の変化等に対応するとともに、デジタル印刷製品の安定供給、品質向上、生産効率の向上、カウンターコストの削減、制作工程の簡略化・合理化を順次進めた。(POD出力費用は、前年比△84.4%、2,047千円の減)

- (g) 生産管理においては、納期集中による生産ラインへの過負荷回避と製造コストの管理・削減に努めるとともに、効率的な生産を実現するため、プリプレス・プレス・ポストプレスの各部門が一体的に生産計画・進行管理を実施し、生産能力の効果的稼働と生産リードタイムの短縮に努めた。
- また、部門間連携による業務補完と組織的な労働時間管理を継続実施し、総体的な超過勤務の削減に努めた。
- (h) 障がいの重度化や高齢化による作業能力の変化や知的障がい・発達障がい等の利用ニーズの増加等に伴い、作業訓練・生産活動の提供方法が変化している一方で、近年の印刷事業においては、情報媒体の変化やデジタル化の波とともに、高度な技術力や専門性、高品質・短納期等を求められる側面があり、従来の作業種では障がい特性等に適応した作業が見い出せないケースもある。このため、印刷事業に限定しない生産活動も取り入れた中で、個々の障がい特性等を勘案し、作業工程の単純化、作業指示の具体化、作業のルーティン化、課題の個別化などに取り組んでいる。上半期では、軽作業室を移設・改装し、感覚過敏や認知状況に配慮した少人数・個別作業の場や情緒安定の環境等を提供するとともに、作業意欲の向上や積極性・職業意識等の醸成、適性や能力の更なる引き出しに努めた。
- (i) 軽作業部門を主体とした受託簡易作業については、菓子箱等の組立などの通年作業を通して、生活介護事業利用者を中心とした生産活動の機会の提供と障がい特性や心身の状況、作業能力等へ特に配慮した作業を提供した。

2-5 札幌ワークセンター

1. 施設運営・福祉事業

- ① 重度障がい者の利用の増加及び福祉サービス第三者評価の受審結果に基づき、内部研修を毎月実施し、福祉思想の醸成及び具体的な接遇方法等について研鑽を積んだ。また、外部講師を招いた介護技術講習を実施し、職員の専門性や支援力向上を図るとともに、地域の障がい者施設としての機能強化に努めた。
- ② 地域密着型施設を目指し、地域住民を対象とした落語会及び近隣大学の学生による人形劇を開催し、交流促進に努めるとともに、法人及び施設の説明を行い、施設運営の理解を促した。
- ③ 利用率 100%を目標に、利用者ニーズ等を反映したサービスの提供に努め、新規生活介護利用者 10名を受け入れ、家庭等の事情により4名が退所したが、生活介護事業の年間平均利用率は102%となり、目標値を達成した。
- ④ 福祉サービス第三者評価の受審結果において改善が求められた、職員の育成体制の強化を図るため、外部研修へ積極的に参加するとともに、職員一人ひとりの知識・技術に合わせた内部研修を毎月実施し、より良いサービスの提供に努めた。
- ⑤ 障がいの重度化、精神疾患の重複、環境変化に心因反応を示す利用者に対して、利用者の現況を統一的に把握及び理解することが支援上不可欠なことから、利用者個々の課題分析をするため、24時間シート等を作成・記録し、状況変化等に対応するとともに、新たな接遇技術を取り入れ、個別支援の強化に努めた。

- ⑥ 利用者の多様なニーズに対応するため、施設内研修の充実を図るとともに、適切な介護技術の提供の必要性から、職員3名が介護福祉士、職員1名が社会福祉主事の資格を取得した。

2. 就労支援事業

- ① 個々の障がい特性等に対応した、作業指導マニュアルを活用するとともに、就労支援プログラム(SST)の積極的な実施により、利用者の作業態度及び姿勢等を導き出し、就労意欲の向上を図った。
- ② 一般就労希望者の意向を個別支援計画に盛り込むとともに、就労支援プログラム(SST)の実施により、一般就労希望者2名が、企業面接会に参加し、計画に沿った支援に努めた。
- ③ 就労継続支援B型利用者の年間平均利用率65%以上を目標とし、新規利用者2名を受け入れたが、3名が退所したことから、年間平均利用率は55%に留まった。

2-6 セルフさっぽろ

1. 施設運営・福祉事業

- ① 保護者に対し、地域移行や年金等の問題のほか、家庭内の問題等に関して、個別の相談会を実施するとともに、作業の見学会も実施し、作業状況や支援体制を確認してもらい、相互の理解を深めた。また、短期入所への関心が特に高く、施設見学や体験利用希望者が多いため、利用者の家族6名に対し、札幌市内の障害者支援施設の見学を実施した結果、3名の体験利用に繋がった。更に、在宅サービスを希望する利用者や家族に対し、住宅申請に係る補助業務をはじめとした地域移行支援について、自治体及び地域の相談支援事業所や居宅介護事業所と連携を図ることにより、移動支援、家事援助、身体介護等のサービスの利用に繋がった。
- ② 一般就労を希望する利用者へ定期的に就労支援プログラム(SST)を実施した他、ハローワークや障害者職業センター等の関係機関と連携を図り、一般就労に向けた取り組みを行った結果、4名が就労に繋がった。また、就労した利用者に対し、障害者職業センター等と連携を図り、チームでの継続的な定着支援に努めた。
- 〈アパレル店舗(清掃・品出し業務)1名、卸売倉庫(ピッキング作業)1名、介護保険施設(清掃業務)1名、レストラン(食器洗浄業務)1名〉
- ③ 福祉職員としての知識向上を図るため、福祉専門職のキャリアアップ研修をはじめ、リスクマネジメントやアンガーマネジメント等の外部研修へ積極的に参加した。また、聴覚障がい利用者への合理的な配慮を図るため、職員7名が手話講習会に参加した。内部研修では、障害者虐待防止法や障害者差別解消法等の制度に関する研修を行ったほか、対人スキルコミュニケーションやアンガーマネジメント等の利用者支援に必要な知識、技術の習得に努めた。

- ④ 新規利用者獲得を図るため、特別支援学校等から見学や実習を積極的に受け入れるとともに、就労継続支援B型を希望する卒業予定者に対し就労アセスメントを実施した結果、4名の新規利用に繋がった。また、札幌市生活就労支援センターや地域の相談支援事業所との連携強化を図り、離職者等の積極的な受け入れに努め、2名の新規利用に繋がった。
- ⑤ 毎月、利用者からの要望が多い屋外行事を中心に土曜日開所を行うとともに、自治会主催行事及び自治会活動への積極的な支援に努め、利用者と職員の関係性向上に努めた。
＜自治会主催行事：焼肉会(7月)、宿泊旅行(9月)、クリスマス会(12月)＞
＜施設見学・施設外レク：(4月・5月・6月・8月・10月)＞
＜施設内レク：(11月・1月・2月・3月)＞
- ⑥ 地域における公益的な取組の推進を図るため申請していた、生活困窮者就労訓練事業は、5月にセルフさっぽろ及びウェルプラザやまはなの両事業所が事業認定を受けたことから、12月から各施設1名を受け入れ、就労訓練事業を実施した。

2. 就労支援事業

- ① 既存物件の安定的な受注継続を図るため、業者との連絡を密に行い、状況把握に努めるとともに、新規作業受注の際は、作業内容・工程等を精査し、価格の適正化及び作業の効率化を図った。また、ウエスについては、慢性的な在庫不足を解消するため、タオル等既存材料の再加工による製品確保及び取引業者や近郊の入浴施設やゴルフ場等への営業活動を継続実施することにより、納品対応に努めた。
- ② 多様化する障がい特性に対応した受注確保に努めるとともに、作業環境の整備や作業工程の細分化など、個々のレベルアップや作業の効率化を図った。
- ③ 縫製部門の後継者育成を図るため、職業指導員2名を新規配置し、将来的な人員体制の構築と育成に努めた。
- ④ ウェルプラザやまはな直営店舗では、客単価アップを図るため、お客様との積極的なコミュニケーションに努めるとともに、チラシの内容見直しや新規会員に特典を付けるなど販促活動を進めた。また、クレームの発生を抑えるため、担当部署での情報収集や技術研究を進めつつ、アイロン仕上げ等勉強会による基本技術の向上にも努めた。

2-7 エルフィンホーム

1. 施設運営・福祉事業

- ① 自治会活動として、町内会行事やボランティア・カーニバル等へ積極的に参加するとともに、地域会議や福祉教育へ積極的に参画・協力し、地域住民等との交流の促進を図った。
4月20日・5月18日・7月20日・11月16日 西の里地域たすけあい会議
5月8日 広栄町内会春の一斉清掃
7月10日 広栄町内会焼肉親睦会
8月13日～14日 西の里地区夏祭り(さくら公園)※会場設営、撤去にも参加
9月23日 西の里小学校車椅子体験学習
9月25日 回転寿司試食会参加
10月2日 広栄町内会秋の一斉清掃
11月17日・12月8日 ノーマライゼーション意見交流会(北広島西高等学校)
2月2日 西の里・虹ヶ丘除雪交流会
- ② 相談支援事業所及び特別支援学校との連携を図り、実習者及び見学者を積極的に受け入れ、定員充足に努めた。
- ③ 利用者へのサービス向上を図るため、世話人会議及び内部研修により支援技術向上を図るとともに、個々の障がい特性に対応した個別支援計画を作成し、計画に沿った支援の実施に努めた。
- ④ 適切な支援技術と知識の向上を図るため、積極的に外部研修へ参加するとともに、研修参加者による内部研修を実施し、職員の資質向上に努めた。

2-8 陽だまり

1. 施設運営・福祉事業

- ① 入居希望児童への体験入居や入居後における児童自立支援施設等の機能を活用した定期的な個別ワークの実施に努めた。また、心身の安定を図るため、個々の課題に応じた医療機関の活用及び連携を図った。
- ② 利用者の自立生活を促進するため、関係機関と連携し、利用者の生活歴、性格行動面の把握・分析を行うとともに、本人の意向を尊重しつつ、自立を目指した目標を盛り込んだ児童自立生活援助計画を策定し、児童相談所と連携し、これに沿った支援に努めた。また、退所後の自立に向けた動機付けと円滑な自立生活を図るため、児童相談所からの訪問など支援機会の充実に努めた。
- ③ 利用者の各就労先との連携を図り、就労定着及び継続支援に努めた。また、入居希望児童は、体験入居の際に、法人内施設等での就労体験を実施し、就労への意識付けと職業適性を見極めを行った。

- ④ 社会適応力や生活の質の向上を図るため、希望者を対象とした手話講習や補習教育を実施するとともに、自立心の助長や社会参加への意欲向上を目的とした、レクリエーションや社会見学を実施した。また、地域の行事へ積極的に参加し、地域交流を深めた。
- 5月8日 中央町内会春の一斉清掃
 - 8月6日 中央町内会七夕祭り
 - 9月25日 回転寿司試食会参加
 - 10月23日 中央町内会秋の一斉清掃
- ⑤ 利用者が抱える様々な課題に応じた適切な支援を行うため、外部研修へ積極的に参加し、支援技術及び知識の向上を図るとともに、研修参加者による内部研修を実施し、職員の資質向上に努めた。また、支援員会議を通じて、利用者の状況把握と情報共有を図り、利用者状況に対応した支援に努めた。
- ⑥ 児童相談所と連携し、体験入居の積極的な受け入れに努め、入居児童の充足を図った。
- ⑦ 利用者の安全確保を図るため、国庫補助金を活用して、玄関及び建物周辺の監視用カメラ3台を設置し、防犯対策の強化に努めた。

2-9 ポプルス(特定相談支援事業)

1. 施設運営・福祉事業

- ① 地域の相談支援事業所との合同会議において、各相談支援事業所や各種障害福祉サービス事業者等と情報・意見交換を行い、ネットワークの構築及び利用者個々が望むサービスの利用援助に努めた。
- ② 高齢相談者の介護問題に対する相談について、介護保険制度について助言するとともに、地域包括支援センターの利用に結びつけるなど、必要な助言・援助に努めた
- ③ 福祉サービス等利用計画の作成に係る外部研修会へ積極的に参加し、作成技術の向上を図るとともに、アセスメントの方法についても研鑽を重ね、支援技術の向上に努めた。

第3期経営推進中期計画進捗状況

【リハビリ・クリーナーズ】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①多様化するニーズに対応できる利用者支援体制の強化	
<ul style="list-style-type: none"> 生活支援員による生活習慣病予防や服薬状況を確認の上、高齢化・障害の重度化へ対応した支援体制の構築 高齢化、重度化等障害程度が変動した利用者の量的作業から質的作業への転換と軽作業利用への転換体制の充実 個別支援計画と相談支援事業所のサービス等利用計画の連動強化 利用者虐待防止の取り組み継続と障害者差別解消への合理的配慮の徹底に向けた年2回以上の職場勉強会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の健康診断結果や報告のあった個人の検査結果の数値を生活支援員等で都度比較し、個別に数値を改善させるための食事・運動・睡眠等の生活習慣改善への助言を行った。 高齢化や障害の重度化が進行した利用者には適宜、配置や作業項目の変更、必要に応じて臨時の座位作業を提供するなどの配慮を行った。大幅な変更が必要になった利用者に対しては2名の軽作業利用への配置転換を行った。 相談支援事業所と連携を取り、利用者の生活面での情報交換や隠れた個人的意向を汲み取るなど、個別支援計画・モニタリングに反映させるよう配慮した。 施設からの一方通行ではなく職員参加型の職場勉強会を上・下半期毎に開催するとともに障害者虐待防止法・障害者差別解消法に関しては毎回の各勉強会で改訂版資料を用意説明し職員の意識の向上と理解の増進を継続して行った。 障がい者虐待防止法に関する内部勉強会を上・下半期に開催し法令に基づく資料説明と利用者とは良好な関係を保つことを目的に各自にアンガーマネジメント診断を行って「利用者ファーストの精神」を実践するため自分を客観視する訓練を行った。
②定員増及び新事業開始に伴う、定員充足ならびに利用率向上の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク等と連携を図り、A型利用者の獲得に努め定員充足を目指す 目標値: 現員+3名充足、利用率80%以上 相談支援事業者、高等養護学校の連携を深めB型利用者(軽作業を含む)を獲得し利用率向上を目指す 目標値: 現員+2名充足、利用率75%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク(含自衛隊地域援護センター)と連携し1名の利用者増があったが3名充足には至っていない。利用率は1名の退所があったこともあり約72.0%に留まった。 相談支援事業者との連携を取り2名のB型利用者の新規利用があった。病気による1名の退所や長期入院、病気・怪我による複数名の短期入院・欠勤があったものの利用率は76.3%を維持することができた。
③社会貢献・地域貢献活動の実践	
<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステム構築の実現に向けた施設の地域貢献として、西の里地域たすけあい会議への積極参加 	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアシステムの一員としての西の里地域たすけあい会議への参加だけでなく、並行して開催される交通安全講習会、西の里小学校総合学習(車椅子体験学習)へ積極的に参加している。また、地域への貢献として夏祭りの準備・後片付け、構成メンバー間の施設行事への相互訪問も継続して行っている。
2. 就労支援事業	
①作業棟老朽改築に伴う生産体制の再構築と事業運営の安定化	
<ul style="list-style-type: none"> 老朽改築事業をスケジュールに基づき総合的な観点から計画的に推進 ホテル関連の物量増や生産体制等の変動及び老朽改築を踏まえ世代交代を考慮した人員配置の再構築 安定的な事業を展開継続するため収支上の観点から部門別に戦略的な検討 	<ul style="list-style-type: none"> 6月15日に着工した新築工事は、概ね工程表通りに進行し予定期日の翌年2月28日に建物引き渡しを受けた。期間中は随時状況把握に努めるとともに作業・衛生環境の改善と生産効率の向上に向けた検討を進めた。 新工場稼働後の物量増を踏まえ、おおぞら施設ホテルリネン作業棟の人員状況も含めながら適切な人員配置を検討した。 就労支援事業については、新工場の処理能力による目標値を踏まえホテルリネンの将来的物量増に適した生産体制を構築するため継続検討する。 福祉事業については現在ハローワーク、相談支援事業所等と連携を図り紹介を受けているが新工場稼働後の定員増についても周知を図り今後も協力体制を維持していく。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
3. 人材の育成等	
①就労・福祉事業職の積極的な研修参加と資格取得の推奨	
<ul style="list-style-type: none"> ・同業他社との差別化(高品質化)を図るため、機材商とのタイアップにより作業場職員の定期的な勉強会の実施 ・福祉関連の内外研修を推進するとともに資格取得に向けた必要性の周知を図る ・生活支援員の社会福祉士資格 ・就労現場職員の社会福祉主事任用資格 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業場の若手・中堅職員を対象として段階的にレベルアップを図る内容とした内部研修会を実施し、上・下半期で2回実施した。 ・福祉に関する外部研修会への推進を図るとともに、研修で得た内容を内部研修会へ活用した。 ・生活支援員1名が社会福祉士資格取得のため学習中 ・就労現場職員の若手職員2名が次年度資格取得予定

【リハビリー・おおぞら】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①新規利用者の確保と利用率の向上に向けた取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・高等養護学校や市町村等を訪問し、各事業のPR等を行い、新規利用者確保の活動を実施し、利用率100%を目指す ・同時に施設利用者の作業内容や種類についての見直しを図り、障害特性に見合った適切なサービス提供を検討実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に学校訪問を実施した結果、A型・B型・就労移行共に利用率が上昇した。 ・適時利用者の障がいにあった作業内容の検討を行い、新たな作業項目を提供した。
②様々なニーズに対応できる利用者支援体制の構築	
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情・相談援助の強化、高齢化・障がいの重度重複化への対応を強化する ・支援課内部各係間の連携強化を図る ・利用者虐待防止の取組みを継続して行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・従来以上に利用者との面談時間を設け、利用者間のトラブルが起きないように努めながら、作業上の不安を取り除くようにした。 ・毎朝の職制ミーティングを継続実施し情報共有に努めた。 ・施設内職員自主研修で改めて虐待防止と差別禁止の意識向上を行った。
2. 就労支援事業	
①工賃収入の安定的確保	
<ul style="list-style-type: none"> ・得意先の新規開拓 ・商品の新規開発 ・効率的な営業活動の推進 ・新規開拓と商品販売開発は従来からの継続 ・営業は限定された人員構成の中で効率的な行動変容を促し、配送等の無駄な動きを徹底排除した、新たな営業のルーティンワークを確立する 	<ul style="list-style-type: none"> ・得意先との契約単価の見直し等を行いながら、一部値上げを実施した。 ・適時集配ルートの新編を行いながら、効率の良い納品体制に努めた。
②工場生産体制の強化	
<ul style="list-style-type: none"> ・工場の生産利益を確保できる人員設備等の体制づくり ・適時、生産体制の検証・見直しを行い、引き続き常に省エネを意識した効率的な運営を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・退職者の人員補充などを予定していたが十分な人員体制には至らなかった。 ・適時、生産体制の検証・見直しを行いながら、予定していた一斉休日を実施した。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
3. 人材の育成等	
①就労・福祉事業職の資質向上のため内外部研修参加と資格取得の推奨	
<ul style="list-style-type: none"> ・資質向上のため内部外部での研修参加を促す。また幹部職員とのヒアリングも随時実施 ・福祉事業職員については、毎月様々なテーマを設定した現在の内部研修会を継続実施 ・今後当法人でも必要とされる、福祉関係の資格や福祉主事、生産現場で有益な資格取得の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事業職員を中心に積極的に外部研修に参加し、合わせて毎月内部で職員研修を実施した。 ・専門的技術及び技能の向上と人材育成を目的とし、職員2名を社会福祉主事任用資格の通信教育およびスクーリングに参加させ資格取得した。
②計画的な採用と職員の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う若手幹部候補生を計画的に採用し育成する。並行して現職員の育成も行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規職員採用にはいかなかった。
4. その他取組み事項	
<ul style="list-style-type: none"> ○事業部内OAシステムの整理 <ul style="list-style-type: none"> ・事業部内ソフトウェアの更新およびネットワークシステムの整備と管理委託 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリーニング事業部内の事務処理の効率化・円滑化を図るため、販売管理ソフトを更新し2月から本稼働となった。
<ul style="list-style-type: none"> ○指定休一斉消化の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・おおぞら新工場と事業部相互の連携による効率的な生産体制構築 ・特に各工場の作業効率・設備・滞貨場所の有無など細部に渡り適時確認検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・適時、生産体制の検証・見直しを行い、一斉休日完全実施の為作業効率・設備・滞貨場所の有無など細部に渡り適時確認検討した。
<ul style="list-style-type: none"> ○集配業務の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・集配業務ワンマンルートの安定運用を図るため、生産現場との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・適時集配ルートの再編を行いながら、効率の良い納品体制に努めた。

【クリーニング事業部】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 就労支援事業	
①新規取引の獲得と価格交渉の積極的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・下洗い業務の受託を含めた新規取引の獲得を継続し、就労支援事業収入の拡大に努める。また、得意先と契約料金の値上げ等を交渉し収支増に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規ホテルリネン下洗い業務及び新規病院寝具取引を獲得する事ができた。業務開始は平成29年度となりホテルリネンはクリーナース新工場稼働につなげることができた。また、契約料金見直しについても交渉を行い、微増ながら新年度に向けた収入増へ繋げる事ができた。
②「医療関連サービスマーク」の更新	
<ul style="list-style-type: none"> ・医療法に基づき厚生労働省等が定める基準を満たした事業者・施設に認定される「医療関連サービスマーク」の更新年(3年)であることから、引き続き更新手続きを進め対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関連サービスマーク認定を6月1日に取得した。 ・3年毎の更新に向け、関係書類の作成・保管を再度周知し業務内容の意識を再度徹底した。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
2. 人材の育成等	
①計画的な研修実施と現職員のスキルアップを目指す	
<ul style="list-style-type: none"> 各現場での作業環境の確認及び計画的な研修を行い人材の育成を図る。また、現職員のスキルアップを図り計画的な幹部候補の育成を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 病院ハウスキーパー研修会を立案し、10月1日・15日の両日に実施、各現場での取り組み及び病院寝具取扱い基準の勉強会を行い、各自のスキルアップに繋げた。 ホテルリネン、病院寝具の各協会主催の研修会に参加し、他社の情報、取組を勉強し、日頃の営業スキルアップに繋げる事ができた。
3. その他取組み事項	
<ul style="list-style-type: none"> リネンサプライ業務以外の業務拡大に繋がる業務の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 営業会議に於いて検討を行い、1・2件の案を討議するが、なかなか見いだせない状況のため継続検討課題とする事にした。但し、既存業務についても変革を求められる事から、合わせた検討を行うこととした。

【リハビリ・エイト】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①多様化するニーズに対応できる利用者支援体制の強化	
<ul style="list-style-type: none"> 障がいの重度化・高齢化等への対応 多様化する利用者や障がい特性等に応じた個別支援の実践 サービスの質の向上と支援体制の強化 介護技術・援助技術の向上及び標準化 障がい特性や心身の状況等に応じた職業指導及び作業環境の提供 就労移行支援の取り組み 年度において1名以上の就労を目指す 創作的活動やレクリエーション等の拡充 通所サービスに関わる送迎支援の実施 利用者自治会活動への支援 	<ul style="list-style-type: none"> 障がいの重度化、高齢化、疾病等により、日常生活全般において介護を要する利用者が増えていることから、個々の心身状況や疾病等に配慮した支援を提供し、残存能力の維持と情緒の安定等を図りながらQOLの向上に努めた。 知的障がいや発達障がい等の利用ニーズが増加する中、利用者個々の意向を尊重し、家族等の連携を図りながらニーズに沿った個別支援計画を策定し、障がいの種類、特性、支援区分、作業適性等を考慮した適切なサービス提供に努めた。 生活支援補助員の配置等による、入浴・排せつ・身体介助、通院支援等の個別対応の強化を継続した。 給食提供に関わる栄養ケアマネジメントの実施や療養食を提供した。 生活支援員、看護師、栄養士等の専門職連携による生活習慣病等の改善に向けた相談支援、通院支援を実施した。 夜間支援職員＋オンコール体制による夜間支援体制を継続した。 個別支援計画策定会議、日次カンファレンス、利用者支援連絡会議、給食会議、栄養ケア計画策定会議、サービス管理責任者会議、職制会議等の効果的運用による組織的な福祉サービスの提供に努めた。 支援の実践やOJTを通じた教育研修を行うとともに、支援ケースの検証・評価等を通して介護・介助技術、ケアプラン作成、相談支援等の支援業務全般に関わる専門性の向上と支援の標準化を図っている。 関連する外部研修への参加や内部勉強会を実施し、職員個々の援助技術の向上と組織的な介護人材の育成に努めた。 個々の障がい特性等を勘案し、作業工程の単純化、作業のルーティン化、課題の個別化などを実施。上半期に軽作業室を移設・改装し、感覚過敏や認知状況に配慮した少人数・個別作業の場や情緒安定の環境等を提供するとともに、作業意欲の向上や積極性・職業意識等の醸成、適性や能力の更なる引き出し、作業参加率の向上に繋げた。 一般就労に向けたアセスメントや面接訓練、職場実習、求職登録、SST等を実施した。 一般就労した方への職場訪問や相談支援等の定着支援を継続した。 利用者2名が一般企業へ就職した。(上期1名・下期1名) 生活介護事業の日中活動プログラムについては、習字や切り絵、手工芸、菜園作りなどの創作的活動を継続実施した。 社会見学やイチゴ狩りなどの外出レクリエーション、創作ゲーム等の余暇的活動を実施するなど、個々の心身状況や利用者の意向を反映したプログラムを提供した。 近隣地域及び新札幌駅への定時送迎を継続。 通所送迎ニーズの増加に対応するため、障がい状況や通所環境、家庭環境等を考慮し、自力での通所が困難な方等に対するドアtoドアの個別送迎を拡充した。(定時送迎：7名 個別送迎：13名) 定期的に自治会との懇談会を開催。自治会運営や花火大会・ボーリング大会等の行事開催に対する相談、引率介助、人的支援を提供。利用者主体の自治会活動を尊重しながら適切な支援を継続した。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
②各事業の新規利用者の確保及び定員充足	
<ul style="list-style-type: none"> 新規利用者の確保／各事業の定員充足 利用登録者数の計画 (登録者82名/定員80名) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校や福祉関係機関等への利用促進活動を継続。 施設見学・体験利用等を積極的に実施して、利用者の獲得・定員充足に努めた。 期末の利用者の定員充足率は97.5%(定員80名/現員78名)。 平成28年度の利用者入退所 新規利用：3名(学校新卒) 退所者：5名(就職2名・施設替1名・自己都合2名)
③福祉サービス第三者評価の受審	
<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービス事業の質の向上を目的に福祉サービス第三者評価の計画的受審 	<ul style="list-style-type: none"> 福祉サービスの質の向上に向けた取り組みとして、福祉サービス第三者評価を受審した。(評価機関:サードアイ) 施設内に「自己評価委員会」を設置し、福祉事業職員全員参加による自己評価を実施。 利用者アンケート及び聴き取り調査、実地調査、管理者・職員ヒアリング、書類等審査等を経て全審査を終了。 平成29年3月21日付にて、評価機関から「北海道福祉サービス第三者評価事業推進機構」へ評価報告が提出され、6月を目処に同機関から評価が通知される予定。
2. 就労支援事業	
①印刷市場及び顧客ニーズ等を見据え利用者の状況等を踏まえた生産体制の検討と見直し	
<ul style="list-style-type: none"> 工賃収入及び事業収益の確保 稼働率・効率性・収益性等を考慮した生産ラインの見直し・合理化を適時実施 オフセット印刷の持ち方検討～オフからデジタル印刷へ生産体制を段階的に移行 オンデマンド/デジタル印刷の導入による多品種少ロット等のトレンドへの対応 組版部門の設備維持コストの削減及び作業効率の向上等に向けた取り組み 多様化するニーズへの対応と作業領域拡充のための軽作業・簡易作業等の取り組み 印刷事業に限定しない作業科目の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 売上高は、第1四半期は国政選挙関連の特需や大型新規物件等を受注したことから好調な滑り出しを見せたが、第2四半期は商業印刷市場の想定以上の鈍化や顧客事情による印刷物の製作中止、ロット減少等の影響を受けて計画額に達しない状況が続いた。このため、補正予算において当初予算比1.7%減の下方修正を行い下期に望んだが、その後も市場ニーズは好転せず、3月期にやや持ち直したものの各月計画額を達成するに至らず低調に推移した。 プリプレス部門においては、制作から出力までの生産体制を増強するために、組版編集用サーバーの更新をはじめ、連動する中型カラーPOD(プリントオンデマンド)印刷機1台の新規導入、モノクロPOD印刷機1台の更新等を実施し、多様化する顧客ニーズや需要の変化等に対応するとともに、デジタル印刷製品の安定供給、品質向上、生産効率の向上、カウンターコストの削減、制作工程の簡略化・合理化を順次進めた。(POD出力費用は、前年比△84.4%、2,047千円の減) 多様な入稿データや各種印刷関連ソフトウェアへの対応を強化し、作業の簡略化等による生産効率の向上に努めた。 小ロット・小型物件・短納期のニーズが増加する近年の受注状況を踏まえ、また、多様化する顧客ニーズに柔軟に対応し、より付加価値を生み出し易い機動力のある生産構造にするため、オフセット印刷からデジタル印刷へ生産ラインを計画的に移行することを含めた検討を継続した。 生産管理においては、納期集中による生産ラインへの過負荷回避と製造コストの管理・削減に努めるとともに、効率的な生産を実現するため、プリプレス・プレス・ポストプレスの各部門が一体的に生産計画・進行管理を実施し、生産能力の効果的稼働と生産リードタイムの短縮に努めた。 個々の障がい特性等を勘案し、作業工程の単純化、作業指示の具体化、作業のルーティン化、課題の個別化などの取り組みを継続した。 軽作業室を移設・改装し、感覚過敏や認知状況に配慮した少人数・個別作業の場や情緒安定の環境等を提供するとともに、作業意欲の向上や積極性・職業意識等の醸成、適性や能力の更なる引き出しに努めた。 軽作業部門を主体とした受託作業については、菓子箱等の組立などの通年作業を通して、生活介護事業利用者を中心とした生産活動の機会の提供と障がい特性や心身の状況、作業能力等へ特に配慮した作業を提供した。 印刷事業の事業展開と就労支援事業のあり方及び印刷事業に限定しない作業科目の持ち方等について議論・検討する場としてワーキンググループを設置し、より具体的な検討を進めている。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
3. 人材の育成等	
①後継者育成ならびに職員の資質向上を目的とした取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・後継人材の確保、支援体制の充実・就労支援事業の継続を図るための計画的採用 ・良質な福祉サービスの提供と生産体制の維持向上のために必要な人員の適正配置 ・後継人材の育成、多能技術習得、業務の相互補完及び組織の活性化等を図るための職域連携と人事異動の実施 ・後継人材の育成/幹部候補の育成 ・職員の資質向上、スキルアップや専門性の向上等を目的とした外部研修、施設内研修、勉強会等を随時実施 ・サービス管理責任者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援体制の強化、専門職の補強、後継者育成を目的とした生活支援員・職業指導員等の求人を行うも計画通りに人材確保が進まず継続。 ・就労支援事業活動(生産活動)の見直しを行う中で、オペレーションや人員配置を適時変更。一方で後継者育成のための人材確保については計画通りに進まず継続。 ・プリプレス、ポストプレス両部門においては、後継人材の育成、多能技術習得、業務の相互補完を図るための、他業務への協力を積極的に実施した。 ・営業業務部門においては、生産現場研修を実施するとともに、担当業務の分担組み替え等を行い、業務補完体制づくりを進めた。 ・階層別、職種別及び個々のキャリア・スキル等に応じた外部職員研修へ積極的に参加。制度改正や実務に関わる内部研修等を通じて、利用者支援に対する共通認識の確保と専門性、援助技術等の向上に努めた。 ・支援の実践やOJTを通じた教育研修を行うとともに、支援ケースの検証・評価等を通して介護・介助技術、ケアプラン作成、相談支援等の支援業務全般に関わる専門性の向上と支援の標準化を図っている。 ・関連する外部研修への参加や内部勉強会を実施し、職員個々の援助技術の向上と組織的な介護人材の育成に努めている。 ・サービス管理責任者の計画的育成を図るため、相談支援従事者研修及びサービス管理責任者研修への受講エントリーを行うも受講選考ならず、次期へ継続。
②資格取得の推奨	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉主事任用資格・社会福祉士・介護福祉士など 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉主事任用資格 1名取得 ・介護福祉士～27年度期受験者2名が合格
4. その他取組み事項	
<ul style="list-style-type: none"> ○非常災害対策 防災訓練：全体2回(内1回は自然災害想定) 入所夜間：2回(内1回は自然災害想定) ○作業訓練提供時間の見直し検討 ○売店事業の適切な運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練を実施 <ul style="list-style-type: none"> ①7月5日 夜間避難訓練 (地震想定シェイクアウト一斉行動訓練及び2次災害として火災発生による通報・避難・消火訓練) ②8月25日 日中避難訓練 (地震想定シェイクアウト一斉行動訓練及び2次災害として火災発生による通報・避難・消火訓練) ③10月12日 日中避難訓練 (法人本部との合同訓練～火災想定通報・避難・消火訓練) ・非常災害対策計画を全面改定した。 ・作業訓練提供時間の見直しについては継続検討中。 ・エイト施設へ運営移管後2年が経過。利用者の利便と福利厚生に供するよう適正な事業運営を継続した。

【印刷事業部】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
<p>1. 就労支援事業</p>	
<p>①受注獲得と収益確保に向けた営業活動を継続</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・既存顧客の深耕活動によるインスタシェアの拡大と定期物件、担保物件の獲得 ・近年の顧客ニーズに基づいて、オンデマンド印刷に関わる受注活動を促進。 ・物件に応じたアウトソーシングの有効活用～協力連携会社の拡充と選別 ・受注規模、生産体制と連動した人員体制の構築検討 ・年次・月次における作業の平準化を考慮した受注活動 ・新規得意先の開拓を促進～人員体制、効率的・効果的な営業活動のあり方や新規開拓の方向性を議論し営業戦略を策定する ・紙媒体に限定しない印刷周辺ニーズの取り込みと企画・提案型の営業活動の進展 ・障害者優先調達推進法等の積極的な活用により、新規官公需を含めた受注活動を展開する。 ・スクリーン印刷の販売促進(継続) ・物価指数、調達コスト上昇等の環境変動に応じて積算基準の見直しを適時行うとともに、適正積算による利益確保を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・受注物件個々の積算内容、収益性の精査を適時行うとともに、受注額、収益性、潜在シェア等を基礎とした顧客分析を行い、シェア拡大と収益が望める得意先への深耕活動、定期発行物の受注確保に努めた。 ・多品種、短納期、少ロット等の顧客ニーズに対応するため、製品品質や契約価格等を勘案して、POD印刷物件の取り込みを進めた。 ・内製生産を原則とする中で、物件に応じてアウトソーシングを効果的に活用（取扱外製品・特殊印刷・品質・納期・受注価格・収益性等を考慮）。生産効率の向上と製造コストの圧縮に取り組んだ。 ・変化する受注内容、近年の受注傾向、受注規模等を踏まえて、また効率的・効果的な営業活動を行うために必要な営業体制と適正人員配置について、中期的な視点に立った体制構築に向けた検討を進めている。 ・月次、年次単位における納期の平準化を図り、極端な生産集中による生産ラインへ過負荷と生産コスト増を抑制するために、受注アプローチにおいて可能な限り納期調整に努めている。 ・新規顧客開拓推進を掲げて新たな得意先の獲得に努めているが、期中での営業員1名の減員や顧客ニーズの多様化に伴う受注物件の少量・多品種化等により既存顧客対応に時間を要し、営業展開が十分に図れず継続課題。 ・紙媒体の取扱高が減少傾向にあることを踏まえ、単純印刷に限定しない付帯物品の製作や周辺役務、電子コンテンツ等を含む受注に努めた。(封入・区分け・発送業務、名簿等のデータ処理、アンケート集計、ノベルティ物品製作、社内サーバー管理、動画配信、スクリーン印刷など) ・障害者優先調達推進法の活用について、前年度に引き続き近隣市町村への働きかけを行うとともに、法施行後3年目にあたって、セルフ協議会と連携して調達方針未策定自治体への訪問活動を実施した。 ・一部の自治体からは受注を得ているが、官公需全体を押し上げるに至っていないため、自治体の動向に注視して積極的な受注活動を継続することとしている。 ・営業ツールとして販売促進を継続。 ・上期においてオンデマンド印刷の社内積算基準を改定。 ・適時、顧客との価格値上交渉を進めるとともに、全物件においても適正価格での受注契約に努めている。
<p>②新たな受注等管理システムの導入に向けた検討</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・導入検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・印刷業務管理システムの更新について、次年度以降に導入する予定としていたが、2月に受注・販売管理に関わる基幹システムを前倒して導入し、29年度からの稼働に向けて試験運用を開始した。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
2. 人材の育成等	
①職員の資質向上を目的とした取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業職員の資質向上、スキルアップや専門性の向上等を目的とした外部研修等への参加機会を提供 ・ 後継人材の育成／幹部候補の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業活動の実践やOJTを通じた教育研修を継続。 ・ 営業活動の効率化や超過勤務削減に関する外部研修へ参加した。 ・ 営業体制の補強、後継者育成を目的とした求人を行うも計画通りに人材確保が進まず継続。
3. その他取組み事項	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 与信・債権管理の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・ 与信管理、債権管理の徹底／取引先情報整備、取引承認の徹底 ○ 時間外労働時間の削減 <ul style="list-style-type: none"> ・ 超過勤務の削減に向けた取組みを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 与信管理、債権管理は事業部内管理＋法人本部との連携により継続。 ・ 既存顧客、新規顧客に関わる信用情報を共有。 ・ 外注業者、資材調達業者との取引承認に係る手順を明確化。 ・ 部門により削減状況にばらつきがあり、取組みを継続。

【札幌ワークセンター】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①生活介護事業における重度の障がい者の積極的な受入れ	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズ等による施設利用希望者について、相談事業所等の関係機関と連携し、年間平均利用率100%を目指し、1名から2名を受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ニーズに基づいて、新規生活介護利用者10名を受け入れ、年間平均利用率102%を達成した。
2. 就労支援事業	
①就労継続支援B定員の充足と利用率の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 定員20名であるが、現員17名であることから相談事業所、高等支援学校等と連携し、利用者2名を確保するとともに、支援の充実を図り利用率65%を目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作業指導等の充実を図ったが、新規利用者2名を受入れたが、3名が退所し、年間平均利用率は55%に留まった。
②利用者工賃の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 前年度の年間平均工賃額5%増を目標 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃就労先及びパン販売先の確保により、前年度の平均工賃額に対して4.6%増加したが、目標の5%を下回るようになった。
3. 人材の育成等	
①職員資質の向上及び後継者の育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部研修は元より施設内研修の充実を図り、時代の求めに即応できる職員を育成する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 施設内研修を毎月実施し、外部講師による介護技術の講習会を行い、改正障害者総合支援法や新しい接遇方法等について研鑽し、支援員として必要な知識、技術等の習得を図った。
②福祉関連資格取得の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・ サービス向上のため、社会福祉主事任用資格1名、介護福祉士等1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適切なサービス提供の必要性から3名の職員が介護福祉士の資格を取得し、1名が社会福祉主事を取得した。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
4. その他取組み事項	
○地域貢献 ・現在、運営している施設内のカフェについて、定期的に催し等を開催し、法人・施設を周知し、理解を促す	・6月に第1回目として地域の住民を対象にした落語会を行い、30名が来所され、また、11月に2回目として近隣の大学生による人形劇を行い、50名程が来所されて法人・施設についての理解を促した。
5. 施設整備計画	
※別紙計画書のとおり	

【ポプルス】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①就労継続支援B型利用希望者への対応(特別支援学校新卒予定者)	
・制度改正を踏まえて、就労移行支援事業所でのアセスメントを基に、障がい者の特性や能力を勘案し、サービス等利用計画を作成し、障がい者が円滑に障害福祉サービスを利用できるよう積極的に支援する	・就労移行支援事業所より、就労継続支援B型利用に係るサービス等利用計画作成の依頼がなかったが、今後とも就労支援事業所と連携し、計画作成件数の増を図ることとする。
2. 人材の育成等	
①相談支援専門員の養成	
・相談支援専門員資格取得の受講 1名	・相談支援従事者講習に1名申込みを行ったが、受講申込者多数により外れたため、次年度にも申込みを行う予定である。

【セルフさっぽろ】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①就労移行支援の積極的な取組強化	
・企業実習の受入先を確保し就労体験の機会を増やす ・一般就労希望者への支援体制を強化して就職に繋げる	・アパレル関係の店舗での企業実習を1名が実施し就職に繋がった。 ・レストランでの企業実習を1名が実施し就職に繋がった。また卸売倉庫へ1名、介護保険施設へ1名、それぞれ就職に繋がり、現在も定着支援を継続している。
②軽作業場として従たる事業所の新規開設と定員変更	
	・軽作業場については従たる事業所の新規開設ではなく現在の場所に増築することとし、平成29年度設計、平成30年度着工の予定で進めている。また来年度は4名の新規利用者が採用開始となるため、平成29年4月より定員を現在の80名から100名に増員することで変更手続きを完了した。
③新規利用者獲得に向けた体制の強化	
・就労アセスメントを積極的に実施し新規利用者獲得に繋げる	・支援学校へ就労アセスメントの利用を働きかけた結果、3名の来年度入所が決定した。
④地域移行等ニーズへの対応	
・地域移行等へのニーズ把握と適切な支援の実施 ・「住まいの場」についてのニーズの把握	・保護者の個別相談会を実施し地域移行へのニーズを把握すると共に短期入所等の情報提供や利用援助に努めた。

平成28年度計画	平成28年度実施状況
⑤A型利用者の計画的な採用	
<ul style="list-style-type: none"> ・B型からA型へのステップアップを積極的に進める(やまはな) 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度のステップアップに向けて積極的に指導に努めた結果、利用者1名が4月からやまはなA型利用者に変更となった。
2. 就労支援事業	
①作業収益の安定確保	
<ul style="list-style-type: none"> ・得意先の新規開拓 ・既存物件の確保と新規物件の獲得強化 ・ウエス材料の確保 ・販促活動を強化して直営店舗の集客力向上を図る(やまはな) ・マッチング事業等を活用した新規顧客の開拓(やまはな) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業者との連絡を密にし状況を確認しながら既存物件の受注獲得に努めると共に、新規物件の作業内容や工程などを精査することで作業の効率化を図った。 ・ウエスについては近郊の入浴施設やゴルフ場などに直接電話をするなど営業活動を継続して行い材料の確保に努めた。
②施設外就労の事業拡張	
<ul style="list-style-type: none"> ・新規の契約先を増やし、利用者4名程度(1ユニット)で施設外就労を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に新規契約先の情報収集に努めている。
3. 人材の育成等	
①福祉事業職員ならびに就労事業職員の資質向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉事業職員としての資質向上および知識を深めるため外部研修への参加を促進する ・就労事業職員としての資質向上およびスキルアップを図るため外部研修への参加を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉専門職のキャリアアップ、リスクマネジメント、アンガーマネジメント等の外部研修に積極的に参加した。
②福祉関係の資格取得を推奨	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉主事任用資格(2名) ・社会福祉士(1名) 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉主事任用資格 2名取得 ・社会福祉士 1名取得
③生活支援員及び職業指導員の増員と後継者育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成のため職業指導員を増員 縫製部門 → 2名 やまはな → 1名 ・施設外新規契約に伴い職業指導員を増員 施設外部門 → パート1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業指導員の増員を図った。 [4月] 縫製部門 2名 [1月] やまはな 1名 ・平成29年4月採用予定で生活支援員1名の採用手続きを完了した。

【エルフィンホーム】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①グループホームの増設・運営	
	<ul style="list-style-type: none"> ・国庫補助採択を受け、平成29年度の新設工事着手に向けて準備を進めた。
②利用者の障害やニーズに対応した利用者支援の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の障がい種別や重度重複化、高齢化に対応した処遇技術向上と支援体制の強化を図る ・利用者の虐待防止や差別禁止法に対応した支援体制の推進を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者へのサービス向上を図るため、世話人会議および世話人研修を実施し、情報共有と支援員および世話人の技術向上を図り、個々の障がい特性に応じた個別支援計画の作成および計画に沿った支援を実施した。
③自治会活動の活性化と地域との交流促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・行事等の積極的な開催とボランティア・カーニバル・町内会活動等への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会行事として「町内会秋の一斉清掃」や「西の里地区夏祭り」の参加や、「社会見学」「ボウリング大会」「忘年会」など積極的に行い、自治会活動の活性化と併せて、地域住民などとの親睦を図った。 ・西の里地域たすけあい会議や、北広島西高校における小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業「ノーマライゼーション意見交流会」「地域報告会」、「除雪交流会」へ積極的に参加し地域交流を図った。
④福祉サービス第三者評価の受審	
2. 人材の育成等	
①福祉事業職員の資質向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修への積極的な参加と資格取得の促進を図る ・外部研修への積極的な参加の促進と世話人会議等における持ち帰り研修の実施 ・外部講師の積極的活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修への積極参加を行い支援技術・知識の向上を図るとともに、「虐待防止」等のテーマによる内部研修を適宜実施した。
②人員の確保と育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・退職職員の確実な補充と円滑な育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から時給アップを図るとともに、チラン等を配布し退職職員の確保に努めた。

【陽だまり】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 福祉事業	
①利用者の特性に応じた処遇の推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・体験入所による見極めを実施する。 ・本人の自立に向けた意向を尊重した自立生活援助計画の作成とその実現に向けた関係機関との連携を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用希望者(5名)を対象に一時保護委託を活用して職場実習などを行い、入所に向けた働きかけと見極めを行った。 ・児童相談所と連携し、本人の意向を加味した自立援助計画の進捗状況の確認と見直しを行い、自立に向け一層の支援に努めた。
②利用者の就労開拓と定着の促進	
<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援機関等の積極的活用による利用者への就労援助を実施する ・退所後における訪問等による支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労先などとの連携を図り就労継続支援に努めた。また、法人内事業所や民間事業所などと連携し就労体験・実習を行った。 ・法人内事業所を活用し就労体験・実習を行うとともに、就労希望の児童に対する就労機会の提供につなげた。 ・退所後の就労継続支援を行うため、本人面接等を行い支援に努めた。 ・退所後の生活支援につながるよう、ハローワークの活用など、通信手段などを活用し支援に努めた。
③利用者の社会的応力の向上に向けた取り組みの推進	
<ul style="list-style-type: none"> ・希望者への補習教育等の提供を行う ・各種行事などへの社会参加機会の提供を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者を対象に手話講習や漢字検定に向けた補習教育を実施した。 ・レクリエーション(イチゴ狩り等) 社会見学の実施の他、七夕祭りや一斉清掃など町内行事に参加し地域交流を図った。 ・クリスマス会、節分、雛祭りなど、各種行事の実施に努めた。
2. 人材の育成等	
①福祉事業職員の資質向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・支援者会議等を通じた利用者の特性や課題把握や情報の共有化と処遇技術の向上を図る ・外部研修への積極的な参加の促進と支援者会議等における持ち帰り研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規利用者を始め、利用者に関して、性格行動面などの状況把握と情報の共有を図り、状況に応じた支援を行った。 ・外部研修(「利用者とのコミュニケーション」「アンガーマネジメント」「防犯」「児童虐待防止」)などへの参加とその内容の活用や、「行動規範」、「職員としての業務対応」など、内部研修により支援職員の資質向上に努めた。
②人員の確保と育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・退職職員の確実な補充と円滑な育成を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から時給アップを図るとともに、チラン等を配布し退職職員の確保に努めた。

【法人本部】

平成28年度計画	平成28年度実施状況
1. 法人運営	
①組織体制の機能強化と充実	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法の一部改正に伴う、適正な事業執行体制の構築に向けた準備と情報収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法の一部改正に伴い、迅速な情報収集と各関係機関との連携を図り、事業執行体制に向けた準備を行った。
②適正な法人運営	
<ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会の適正な運用 ・社会福祉法人新会計基準の適正な継続 運営 ・各種法令改正・施行に伴う、規程及び体制整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会・評議員会の適時開催と適正な運用に努めた。 ・平成26年度より社会福祉法人新会計基準へ移行し、継続して適正な運営を行っている。 ・4月施行の女性活躍推進法に伴う、女性活躍推進に係る行動計画等を策定し関係機関へ届出を行った。 ・社会福祉法の一部改正に伴う各関係規程等の制定ならびに改定を行った。 (定款、定款施行細則、内部管理体制の基本方針、評議員規程、評議員会運営規程、役員規程、理事会運営規程、組織規程、職務権限規程、稟議規程、経営会議規程、会計監査人選定基準、経理規程等の制定ならびに改定) ・10～20年先を見据えて法人が永続的に経営していくため、「北海道リハビリの発展的未來に向けてすべきこと」をテーマに検討することを目的に「HR未来委員会」を設置し、委員会を7回開催して報告書を「経営会議」に上申した。
③福祉サービス第三者評価の受審	
<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ・エイトの受審 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月～リハビリ・エイトが福祉サービス第三者評価を受審した。(評価機関：サードアイ)
④地域における社会貢献活動の取組	
<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとキャリア教育推進事業の連携推進等 ・生活困窮者認定就労訓練事業の認定検討 ・札幌市生活困窮者雇用促進体験実習ならびに北広島市季節労働者雇用促進体験実習者の積極的な受入れ ・ボランティア・カーニバルの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道教育庁石狩教育局「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」へ参画し、講演会や意見交流会、報告会への参加と地元高校生のインターンシップ体験学習会を実施した。 ・5月25日：札幌市生活困窮者就労訓練事業認定。(セルフさっぽろ) ・北広島市に季節労働者体験実習受入の事業者登録をしていたが、平成28年度の体験実習受入者は無かった。 ・8月28日：第43回ボランティア・カーニバル開催。
2. 人材の育成等	
①人材の確保と育成	
<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成の基準や条件を明確にするキャリアパス制度の導入検討 ・計画的な人材採用計画の検討 ・研修計画に基づく研修内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・法人の将来的な人材確保・育成・処遇等について検討するため「HR人材委員会」を設置し、委員会を6回開催して報告書を「経営会議」に上申した。 ・「HR人材委員会」から提出された答申内容を「経営会議」で協議し理事会に報告するとともに、外部理事を含んだ「人件費委員会」を設置し、平成29年度以降の新卒採用、既存職員の処遇等について協議を行い、改善案を策定した。 ・「人件費委員会」の改善案に基づき、平成29年度の法人本部事務局の組織体制の検討・見直しを図った。
②ワーク・ライフ・バランスに配慮された職場の確立	
<ul style="list-style-type: none"> ・人事考課制度に基づく新給与制度の導入 ・労働時間、休日の増、有給休暇の取得促進等に関する協議・検討 ・職員の定年延長について協議・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月より人事考課制度に基づく新給与制度を導入した。 ・昨年度より継続して有給休暇の取得促進と平成28年度より指定休日を2日間増とした。 ・平成28年度より職員の定年退職時期を誕生月から年度末へ延長した。

3. 理事会・評議員会等

開催日	審議内容等
4月27日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席理事数 6名）</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて(2月～3月) ② 運営状況について(2月～4月) ③ 平成27年度第4四半期監事監査報告 ④ 社会福祉法人制度改正について ⑤ 建設委員会からの報告 ⑥ 広報誌の新名称について</p> <p>協議事項 ① 平成27年度事業報告(案)について ② 平成27年度決算(案)について ③ 法人基本理念の改定について ④ 基本財産の担保提供について ⑤ 施設設備整備について</p>
5月27日	<p>【第1回評議員会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席評議員数 13名）</p> <p>報告事項 ① 社会福祉法人制度改正について ② 法人基本理念の改定について</p> <p>協議事項 ① 平成27年度事業報告(案)について ② 平成27年度決算(案)について 平成27年度監事監査報告 ③ 定款変更について</p>
	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：北海道リハビリー 法人本部 会議室（出席理事数 7名）</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて(4月) ② 運営状況について(4月～5月)</p> <p>協議事項 ① 平成27年度事業報告(案)の承認について ② 平成27年度決算(案)の承認について 平成27年度監事監査報告について ③-1 基本財産の処分について ③-2 定款変更について ④ 平成27年度資産変更登記について ⑤ リハビリー・クリーナース老朽改築に伴う一般競争入札結果及び事業予算額の補正について ⑥ 平成28年度労働組合の要求に対する回答について ⑦ 夏季賞与について ⑧ 施設利用者の精勤手当等について ⑨ 会計監査人候補者選定について ⑩ 施設設備整備について ⑪ 建設委員会の権限について</p>

開催日	審議内容等
6月16日	<p>【建設委員会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席委員数 6名）</p> <p>協議事項 ① 札幌ワークセンター給湯・暖房用ボイラー更新工事における一般競争入札について</p>
7月13日	<p>【建設委員会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席委員数 6名）</p> <p>協議事項 ① リハビリ・クリーナース老朽改築に係るアスベスト除去工事について</p>
8月 5日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席理事数 7名）</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて（5月～6月） ② 運営状況について（5月～7月） ③ 平成27年度福祉サービス第三者評価結果の概要について ④ 建設委員会からの報告 ⑤ 施設設備整備実施結果について</p> <p>協議事項 ① 会計監査人の選任について ② 給食業務委託業者の見直しについて ③ 施設設備整備について ④ リハビリ・クリーナース老朽改築に伴う建設委員会の権限について</p>
10月 3日	<p>【建設委員会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席委員数 4名）</p> <p>協議事項 ① リハビリ・クリーナース老朽改築に係る機械及設備の移設設置工事、更新・新規購入事業について</p>
10月26日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：センチュリーロイヤルホテル（出席理事数 7名）</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて（7月～9月） ② 運営状況について（8月～10月） ③ 第2四半期監事監査報告（野村監事） ④ 建設委員会からの報告 ⑤ 施設設備整備実施結果について</p> <p>協議事項 ① 社会福祉法改正に伴う評議員の選任・解任方法について ② 社会福祉法改正に伴う内部管理体制等について</p> <p>その他 ① 役員・評議員選任に関する申し合わせ事項の提案について</p>

開催日	審 議 内 容 等
11月29日	<p>【第2回評議員会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館（出席評議員数 14名）</p> <p>報告事項 ① 平成28年度上半期事業状況について ② 平成28年度上半期監事監査報告</p> <p>協議事項 ① 平成28年度補正予算(案)について ② 社会福祉法改正に伴う評議員の選任・解任方法について ア 定款変更について(評議員の選任方法) イ 評議員選任・解任委員会運営規程(案)について ウ 役員・評議員選任に関する申し合わせ事項の報告 ③ 行動規範の改定について ④ 札幌ワークセンターの施設名称変更について</p> <p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館（出席理事数 7名）</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて(10月) ② 運営状況について(10月～11月) ③ 平成28年度上半期事業状況について ④ 平成28年度上半期監事監査報告 ⑤ 理事長からの業務報告</p> <p>協議事項 ① 平成28年度補正予算(案)について ② 社会福祉法改正に伴う評議員の選任・解任方法について ア 定款変更について(評議員の選任方法) イ 評議員選任・解任委員会運営規程(案)について ③ 社会福祉法改正に伴う評議員選任委員の選任について ④ 社会福祉法改正に伴う評議員候補者の推薦について ⑤ 行動規範の改定について ⑥ 札幌ワークセンターの施設名称変更について ⑦ リハビリ・クリーナーズ及びセルフさっぽろの定員変更について ⑧ 年末賞与について ⑨ 施設利用者の精勤手当等について ⑩ 給食業務委託の入札結果について ⑪ 施設設備整備について</p>
12月12日	<p>【契約委員会】</p> <p>会場：北海道リハビリ 法人本部 会議室（出席委員数 4名）</p> <p>協議事項 ① 給食業務委託事業に係る契約方法の変更について</p>

開催日	審議内容等
12月26日	<p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席理事数 7名）</p> <p>報告事項 ① 事業実績及び資金繰りについて(11月) ② 運営状況について(11月～12月) ③ 契約委員会からの報告 ④ 札幌ワークセンターの名称変更について ⑤ 施設設備整備実施結果について ⑥ 理事長からの業務報告</p> <p>協議事項 ① 評議員選任・解任委員会の開催について ② 役員・評議員選任に関する申し合わせ事項について ③ 北海道リハビリー行動規範の改正について ④ グループホーム新規建設に伴う建築計画の変更について ⑤ 北海道リハビリー附属診療所について ⑥ 建設委員会の権限について ⑦ 給食業務委託の契約について ⑧ 人件費委員会の設置について</p>
1月24日	<p>【評議員選任・解任委員会】</p> <p>会場：ホテルノースシティ（出席委員数 3名）</p> <p>報告事項 ① 評議員の選任に当って</p> <p>協議事項 ① 社会福祉法改正に伴う評議員の選任について</p>

開催日	審 議 内 容 等
2月27日	<p>【第3回評議員会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館（出席評議員数 13名）</p> <p>報告事項 ① 社会福祉法改正に伴う評議員の選任について （評議員選任・解任委員会からの報告）</p> <p>② 平成28年度決算見込みについて</p> <p>協議事項 ① 平成29年度事業計画(案)及び平成29年度予算(案)について</p> <p>② 役員・評議員に関する申し合わせ事項について</p> <p>③ 社会福祉法改正に度に伴う定款変更について</p> <p>【定例理事会】</p> <p>会場：ホテルさっぽろ芸文館（出席理事数 7名）</p> <p>報告事項 ① 社会福祉法改正に伴う評議員の選任について(評議員・選任解任委員会からの報告)</p> <p>② 平成28年度決算見込みについて</p> <p>③ 事業実績及び資金繰りについて(12月～1月)</p> <p>④ 運営状況について(12月～2月)</p> <p>⑤ 理事長からの業務報告</p> <p>⑥ 施設設備整備実施結果について</p> <p>協議事項 ① 平成29年度事業計画(案)及び平成29年度予算(案)について</p> <p>② 役員・評議員選任に関する申し合わせ事項について</p> <p>③ 社会福祉法改正に伴う定款変更について</p> <p>④ 組織の改編と施設長等の任免について</p> <p>⑤ 社会福祉法改正に伴う諸規程等の制定ならびに改正について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定款施行細則・内部管理体制の基本方針・評議員規程 ・評議員会運営規程・役員規程・理事会運営規程・組織規程 ・職務権限規程・稟議規程・経営会議規程・会計監査人選定基準 ・経理規程・給与規程(役職手当等) <p>⑥ 人件費委員会における新卒者関係ならびに既存職員の賃金等の改善案について</p> <p>⑦ クリーナース経営検討委員会の解散について</p> <p>⑧ グループホーム新設工事の入札について</p> <p>⑨ 当座貸(借)越契約ならびに所内預金の保全措置について</p>

4. 職員研修等

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
4月15日	OBCのストレスチェックサービス実務体験セミナー キャノンシステムアンドサポート	札幌市	吉ヶ谷
5月12日 ～13日	新人職員マナー研修 北海道社会福祉協議会	〃	川村(昭)、金野、高橋(望)、 橋本(和)
18日 ～19日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(初任者コース) 北海道社会福祉協議会	〃	上田、大山(道)、金野、 佐伯
26日 ～27日	新任介護職員研修 北海道社会福祉協議会	〃	伊藤(大)、河端、高松
6月 1日	施設職員スキルアップ講座(新任職員編) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	〃	生島、伊藤(史)、近江、 斉藤(千)、高橋(望)、日登、 堀(美)
1日 ～2日	新任職員研修 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	小笠原、大須田、笠田、亀貝、 貞廣、三上(雅)、水上(香)、宮崎、 山形、山田(奈)
7日	個別支援の実現に向けたケアガイドライン研修 北海道身体障害者福祉施設協議会	札幌市	大山(道)、布村(亜)
8日 ～9日	新任職員研修 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	石川(理)、伊藤(史)、小田嶋、 川村(昭)、栄田、橋本(和)、本間、 森(百)、森(智)、横山(真)、日登
14日	福祉施設におけるボランティア受入担当者研修 札幌市社会福祉協議会	札幌市	工藤(竜)
15日	役職員研修会 北海道民間社会福祉事業職員共済会	〃	福田(一)
26日	清掃業務を学ぶ勉強会 北海道リハビリ(札幌ワークセンター)	施設内	伊藤(義)、梅原、岡本(佳)、 利用者4名
28日	普通救命講習会 北海道リハビリ(札幌ワークセンター)	〃	ワーク17名 セルプ 3名
29日	危険物取扱者保安講習 北海道危険物安全協会連合会	江別市	石井(宏)、寺下、寺田
30日 ～7月1日	社会就労センター施設長・職員研修会 北海道社会就労センター協議会	札幌市	道下(健)、菅原(宗)、市川、小田、 福田(一)、藤原(雅)、渡辺(芳)、 大黒、鳥居、梶川、中井、齊藤(岳)
7月 2日	千歳市民防災講座(応用編) 千歳市総務部危機管理課	千歳市	竹内(孝)
7日	社会福祉法人経営者セミナー 北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会	札幌市	石崎、福田(一)、北川
7日 ～8日	全国社会就労センター総合研究大会(三重大会) 全国社会福祉協議会・全国社会就労センター協議会	三重県	遠藤(久)、吉ヶ谷

6月28日 在原、飯澤、石川(理)、伊藤(史)、梅原、大山(毅)、岡本、亀貝、工藤(竜)、小峯、貞廣、田川、中川(里)、日登、
普通救命講習会 本間(大)、宮崎、森(洋)、山田(奈)、横山(美)、渡辺(卓)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
7月14日	聖芳園センター研修 北広島市きた高齢者支援センター	北広島市	服部
〃	中堅職員研修 北海道リハビリ（法人本部）	施設内	阿部(泰)、片倉、佐藤(悠)、武田、 中川(晴)、堀川、前田(秀)、 松本(恭)、村川(将)、渡辺(卓)
21日	新任栄養士研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	小田嶋
22日	ニューパワー全体セミナー 札幌市社会福祉協議会	〃	日登、森(智)
〃	社会福祉法人会計セミナー 福祉医療機構	東京都	旭
25日	クレーム対応セミナー(基本編) 北海道民間社会福祉事業職員共済会	札幌市	工藤(竜)
27日	薬剤の役割と製品説明 北海道リハビリ（クリーナーズ）	施設内	菅原(宗)、大黒、梶川、竹内(司)、 石川(晃)、金山、川村(昭)、佐伯、 山崎、利用者1名
〃	施設レクリエーションを見直す研修 札幌市社会福祉協議会	札幌市	横山(美)
28日	安全運転管理者等講習 北海道公安委員会	〃	藤原(雅)
8月 1日	リスクマネジメント研修 北海道社会福祉協議会	〃	金沢、杉田、花岡
5日	札幌市身障連協職員研修会 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会	〃	市川、伊藤(義)、鳥居、 生出、本間(大)、森(智)
9日	福祉施設における社会貢献を考える研修 札幌市社会福祉協議会	〃	中川(里)
9日 ～10日	メンタルヘルス研修 北海道社会福祉協議会	〃	奥田(雅)、中田(光)、服部
〃	新任施設相談員研修 北海道社会福祉協議会	〃	五十嵐、生島、橋本(実)、 森(智)
24日	社会福祉施設等における防犯対策研修会 北広島市保健福祉部	北広島市	荒木、福田(一)、奥田(雅)、 吉ヶ谷、佐藤(貴)、阿部(み)、 北川、梶川、伊藤(智)、服部
24日 ～25日	北海道強度行動障がい支援者養成研修(基礎研修) はるにれの里	〃	工藤(竜)
〃	新任介護職員研修 北海道社会福祉協議会	札幌市	上、布村(将)、廣島
27日	虐待防止研修会 北海道社会福祉士会	〃	大須田、布村(亜)、山形
29日 ～30日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(中堅職員コース) 北海道社会福祉協議会	〃	知覧、服部、道下(真)、 森田

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
8月31日	施設職員スキルアップ講座(中堅職員編) 北海道社会福祉協議会 社会福祉施設部会	札幌市	池野、高松
9月 1日	アンガーマネジメント研修 北海道社会福祉協議会	〃	鳥居、稲垣、生出、近江、 及川(勝)、花岡
2日	社会福祉法人・社会福祉施設ブロック研修会 北海道社会福祉協議会、北海道社会福祉法人経営者協議会	〃	小田、福田(一)、佐藤(貴)、 吉ヶ谷、奥田(雅)、旭
7日	北海道社会福祉大会 北海道社会福祉協議会 北海道共同募金会	〃	菅原(宗)、梶川
8日 ～9日	介護職員専門研修Ⅱ 北海道社会福祉協議会	〃	布村(匡)
9日	障害福祉サービス経営セミナー 福祉医療機構	東京都	遠藤(久)
〃	安全運転管理者・副安全運転管理者講習 北海道公安委員会	北広島市	今井、住谷、水口
26日	社会福祉法人向けセミナー 新日本有限責任監査法人	札幌市	水口
26日 ～27日	施設長及び職員研修会 北海道身体障害者授産施設連絡協議会	〃	道下(健)、福田(一)、藤原(雅)、 奥田(雅)、佐藤(貴)、小峯
27日	不当要求防止責任者講習 北海道公安委員会	〃	福田(一)
28日	普通救命講習会 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	18名
〃	利用者の工賃向上と就労支援を考える研修会 北海道社会就労センター協議会	岩見沢市	福田(一)、藤原(雅)、生出、 堀川
29日	主治医研修 北海道医師会	札幌市	吉ヶ谷
10月 1日	ハウスキーパー研修会 北海道リハビリ(おおぞら・クリーニング事業部)	施設内	16名
3日 ～4日	社会福祉法人人材マネジメント講座 全国社会福祉法人経営者協議会	東京都	吉ヶ谷
4日	看板商品、人気商品を作りだす研修会 北海道社会就労センター協議会	札幌市	上、松本(恭)
5日 ～7日	就業支援基礎研修 高齢・障害・求職者雇用支援機構	〃	生島、中田(光)
7日 ～8日	北海道強度行動障害支援者養成研修(実践研修) はるにれの里	〃	工藤(竜)

9月28日 普通救命講習会 生島、池野、伊藤(友)、大須田、小田嶋、小野(智)、笠田、栄田、佐藤(裕)、佐藤(悠)、田畑(義)、津田、佐伯、
立崎、廣島、藤井、古崎、山形

10月 1日 ハウスキーパー研修会 伊藤(和)、猪俣、岡田(牧)、奥田(正)、大橋、小野(み)、菊池(里)、佐藤(久)、高橋(泰)、竹内(芳)、田畑(康)、
播磨、舟木、堀崎、松坂、森松

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
10月11日	児童虐待防止講演会 北海道石狩振興局保健環境部児童相談室	恵庭市	古崎
12日	ストレスチェック&特別な休暇制度解説セミナー 東京海上日動リスクコ7ンサルティング	札幌市	吉ヶ谷
13日	リネンサプライ業技能実習講習会(初級) 日本テキスタイルサプライ協議会	東京都	中村(友)
13日 ~17日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	水野
15日	ハウスキーパー研修会 北海道リハビリ(おおぞら・クリーニング事業部)	施設内	11名
19日	人事管理研修 北海道社会福祉法人経営者協議会	札幌市	吉ヶ谷
〃	女性の活躍推進セミナー 北海道	〃	伊藤(麻)、竹山
19日 ~20日	相談支援従事者研修(サービス管理責任者/児童発達支援管理責任者向け研修) 北海道地域ケアマネジメントネットワーク	〃	新出
20日 ~21日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(チームリーダーコース) 北海道社会福祉協議会	〃	石川(晃)、堀川
25日	災害時避難訓練「振り返り研修」 札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会	〃	藤原(雅)、市川、鳥居
〃	防犯講習会 豊平警察署生活安全課	施設内	藤原(雅)、伊藤(義)、大山(毅)、岡本、 亀貝、小峰、中川(里)、野宮(将)、藤田(し)、 三上(雅)、森(洋)、横山(美)
27日 ~28日	身体障害者福祉施設職員研修会 北海道身体障害者福祉施設協議会	札幌市	道下(健)、福田(一)、 佐藤(貴)、小峰
28日	事業所向け通年雇用支援セミナー 北広島市季節労働者通年雇用促進支援協議会	北広島市	吉ヶ谷
28日 ~10月1日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	金野
31日	清田区難病研修会 自立支援協議会清田区地域部会	札幌市	松岡
11月 7日	障がい者の権利擁護と虐待防止を考えるシンポジウム 札幌市	札幌市	森(洋)
8日 ~9日	施設相談員専門研修 北海道社会福祉協議会	〃	布村(亜)、斉藤(す)、 道下(真)、服部

10月15日
ハウスキーパー研修会 兼子、斉藤(久)、佐藤(美紀)、佐藤(美和)、高井、坪江、中野、古川(砂)、本間(雪)、村本、山田(喜)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
11月 9日	防犯対策研修会 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	42名
〃	過重労働解消のためのセミナー 東京リーガルマインド	札幌市	小井川、森(邦)、山本(正)
13日 ～17日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	上
14日	ノロウイルス対策講習会 札幌市豊平区保健福祉部	札幌市	石渡
15日 ～16日	メンタルヘルス研修 北海道社会福祉協議会	〃	杉田、花岡
16日	クリーニングに関する繊維と染料について 北海道リハビリ(クリーナーズ)	施設内	菅原(宗)、石川(晃)、金山、 川村(昭)、窪田、佐伯、 藤原(基)、山崎
17日	工場視察(太陽セランド(株)、南九イリョー(株)) 日本病院寝具協会	鹿児島県 福岡県	遠藤(久)、伊藤(学)、渡辺(芳)
17日 ～18日	福祉専門職のためのキャリアアップ研修(管理職員コース) 北海道社会福祉協議会	札幌市	鳥居
18日	退職年金制度に係る業務説明会 北海道民間社会福祉事業職員共済会	〃	竹本
〃	栄養士専門研修(児童・成人) 北海道社会福祉協議会	〃	小田嶋
21日	社会福祉法改正緊急経営セミナー 北海道社会福祉協議会	〃	吉ヶ谷、菅原(宗)、福田(一)、 田中監事
22日	障害者総合支援法並びに児童福祉法に基づく集団指導 北海道石狩振興局保健環境部社会福祉課	〃	道下(健)、福田(一)、大黒、 奥田(雅)、佐藤(貴)、梶川、 竹内(孝)、中田(光)、服部
〃	自立支援協議会清田区地域部会・清田区障がい福祉関係者ネットワーク会議共催研修会 清田区保健福祉部保健福祉課	〃	梅原、大山(毅)、工藤(竜)、 貞廣、田川、野宮(将)、 三上(雅)
25日	年末調整等説明会 札幌南税務署	北広島市	藤井(悠)
12月 1日 ～2日	介護職員専門研修 I 北海道社会福祉協議会	札幌市	佐藤(麻)
7日	安全運転講習会 北海道リハビリ(法人本部)	施設内	49名

11月9日 防犯対策研修会 石崎、道下(健)、小田、荒木、伊藤(学)、奥田(雅)、佐藤(貴)、旭、生島、池野、伊藤(大)、伊藤(友)、伊藤(智)、上田、及川(勝)、近江、大山(道)、金沢、上、川上、河端、北川、北村、菅原(敦)、高橋(絵)、高橋(望)、高橋(優)、竹本、谷口、中川(優)、中田(光)、仲野、浜崎、藤井(亮)、古崎、前田、松崎、松本(恭)、森(敏)、山形、山口(政)、吉本 (管理職50音順→一般職50音順)

12月7日 安全運転講習会 石崎、藤原(雅)、荒木、今井、住谷、佐藤(貴)、秋山、池野、石井(明)、井出上、伊藤(智)、伊藤(大)、伊藤(麻)、井上(睦)、近江、太田(恭)、小田嶋、笠田、北川、小井川、小峯、酒井(雅)、作佐部、真田、菅原(敦)、鈴木(ふ)、高橋(絵)、高橋(優)、谷口、土谷(稔)、寺下、寺田、友村、仲野、布村(亜)、橋本(和)、服部、浜崎、廣瀬、廣田、古崎、藤井(亮)、堀、松崎、松田、村川(将)、山邊、山本(正)、吉本 (管理職50音順→一般職50音順)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
12月 7日	防災教室 北海道リハビリ(エルフィンホーム)	施設内	荒木、服部、古崎、山口(政)、山本(二)、利用者16名
9日	法人役員・施設長専門研修(社会福祉施設) 北海道社会福祉協議会	札幌市	遠藤(久)、吉ヶ谷
13日	障害者総合支援法に基づく集団指導 札幌市保健福祉局障がい保健福祉部障がい福祉課	〃	藤原(雅)、市川、伊藤(義)、鳥居
15日 ～19日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	中田(光)
20日 ～22日	北海道サービス管理責任者研修(第4分野就労) きなはれ	札幌市	小野(智)
20日 ～24日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	知覧
21日	障害のある人もない人もともに暮らす地域づくりのために(初任者研修) 道央ブロック広域相談支援体制整備事業	北広島市	野宮(将)
〃	障害のある人もない人もともに暮らす地域づくりのために(フォローアップ研修) 道央ブロック広域相談支援体制整備事業	〃	大山(毅)、佐々木(繁)
1月12日	職場の障がい理解をすすめる研修会 北広島市障がい者自立支援協議会	〃	菅原(宗)、服部
17日	障がい福祉サービス等事業所向け研修会 北広島市保健福祉部福祉課	〃	菅原(宗)、福田(一)、渡辺(芳)、奥田(雅)、梶川、服部
19日	農福連携セミナー 農林水産省 北海道農政事務所	札幌市	石崎
〃	新任事務担当者さま向け事務説明会 協会けんぽ北海道支部	〃	笠田
21日	発達凸凹の苦勞の当事者研究 発達凸凹の当事者研究発表大会実行委員会	〃	市川、鳥居、生出、花岡
27日 ～31日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	岡本
30日	社会福祉法人経営実務セミナー 北海道社会福祉協議会	札幌市	石崎
2月 1日 ～5日	社会福祉主事資格認定通信課程スクーリング 全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	石崎
7日	自立支援協議会清田区地域部会・清田区障がい福祉関係者ネットワーク会議共催研修会 清田区保健福祉部保健福祉課	札幌市	大山(毅)、小峯、松岡、三上(雅)、宮崎、横山(真)
8日	不当要求防止責任者講習 北海道公安委員会	〃	市川
10日	就労系ガイドライン作成に伴う事業所説明会 札幌市保健福祉局保健福祉部	〃	藤原(雅)
15日	身体障害者福祉施設研究セミナー 北海道身体障害者福祉施設協議会	〃	道下(健)、福田(一)、市川小田、佐藤(貴)、鳥居、梶川、田川、細川(英)

開催日	研修等の名称	開催地	出席者
2月23日	ダイアパー技術研修会 日本ダイアパー事業振興会	東京都	斉藤(岳)、知覧
24日	社会福祉法人会計実務者決算講座 全国社会福祉協議会、全国社会福祉法人経営者協議会	大阪府	旭
〃	エネルギー管理講習(資質向上講習) 省エネルギーセンター	札幌市	寺下、小野(智)
3月 2日	勉強会・座談会(精神障がい者の障害福祉サービスについて) 自立支援協議会清田区地域部会こころのチーム	〃	大山(毅)、小峯、森(洋)、 横山(美)
6日 ～7日	リネンサプライ業技能実習講習会(中級) 日本テキスタイルサプライ協議会	東京都	細川(英)
9日	障害者雇用納付金制度事務説明会 高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部	札幌市	竹本
9日 ～10日	社会就労センター施設長・職員研修会/事業所経営セミナー 北海道社会就労センター協議会	〃	石崎、道下(健)、福田(一)、 市川、小田、伊藤(史)、 遠藤(美)、山田(奈)
16日 ・23日	水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会 空知総合振興局札幌建設管理部用地管理室維持管理課	〃	16日：藤原(雅) 23日：北川
		合 計	延べ502名

定期的内部研修

開催日	研修等の名称	出席者	事業所
9月 8日・ 9日・15日 16日 2月 9日・10日・16日 17日	障がい福祉サービスに関する施設内勉強会	菅原、大黒、竹内、秋元、阿部、安藤、伊賀、池田、石川、石黒、石山、岩崎、上村、内潟、金山、川村、川村、工藤、窪田、是石、佐伯、佐々木、東海林、新谷、曾我部、竹内、立崎、得地、中川、野宮、浜根、古川、藤原、松本、宮本、山崎、山下、渡邊 38名	クリーナーズ
4月20日・21日 5月18日・19日 6月15日・16日 7月20日・21日 9月14日・15日 10月12日・13日 11月 9日・10日 12月14日・15日 1月18日・19日 2月22日・23日 3月29日・30日	福祉事業職員自主研修会	道下、渡辺、萩原、梶川、東、阿部、岩泉、遠藤、小野、加藤、窪田、重本、新出、須藤、谷永、田村、知覧、津田、堂前、中川、中村、中田、中田、橋本、廣瀬、細川、細川、山田、山本、菊池、中谷 31名	おおぞら
4月22日・ 5月25日 6月28日・ 7月20日 8月23日・ 9月23日 10月21日・11月24日 12月22日・ 1月23日 2月21日・ 3月20日	福祉事業職員研修会	奥田、佐藤、秋山、上田、生島、池野、伊藤、上、川上、河端、杉田、高松、谷口、仲野、布村、浜崎、前田、松本、森田、山形、吉本 21名	エイト
4月30日・ 5月28日 6月28日・ 7月16日 8月13日・ 9月17日 10月28日・11月19日 12月23日・ 1月28日 2月25日・ 3月30日	施設内自主研修	伊藤、在原、飯澤、石川、梅原、大山、岡本、亀貝、工藤、小峯、貞廣、田川、野宮、藤田、中川、本間、松岡、三上、宮崎、森、横山、横山、渡辺 23名	ワーク
7月 9日・30日 8月13日・27日 9月24日	介護実技研修	藤原、伊藤、在原、飯澤、石川、梅原、大山、岡本、亀貝、工藤、小峯、貞廣、田川、野宮、藤田、中川、古崎、本間、松岡、三上、宮崎、森、横山、横山、渡辺 25名	

開催日	研修等の名称	出席者	事業所
4月 9日・ 5月 7日 6月 4日・ 7月 2日 9月10日・11月 5日 12月 3日・ 1月 7日 3月 4日	福祉職員研修会	須田、鳥居、伊藤、生出、金野、斉藤、斉藤、 鈴木、日登、花岡、堀川、道下、森、矢野、山田 15名	
5月16日・23日・30日 6月 6日・13日・20日 27日 7月 4日・11日・18日 25日 8月 1日・ 8日・15日 22日・29日 9月 5日・12日・19日 26日 10月 3日・17日・24日 31日	入門手話講習会 (札幌聴覚障害者協会)	市川、斉藤、清水、花岡、堀川、道下、森 7名	セルフ
6月 4日・ 8月25日 11月29日・ 2月 9日	世話人研修会	泉、大原、近江、柿崎、工藤、田中、永田、 西、古崎、堀、山本、吉井 12名	エルフィンホーム
8月 4日・ 9月 6日 10月 7日・12月 7日 3月 9日	指導員研修会	阿部、石井、井上、近江、大西、高橋、長谷川 7名	陽だまり
合 計		179名	

(管理職 50 音順→一般職 50 音順)

5. 行事・事業等

開催日	行事・事業内容	
4月 4日	税務調査(澁谷税理士)	
13日	出納監査(田中監事)	
18日・19日	施設外レクリエーション(ザ・ダイソー)	エイト
22日	監事監査(田中監事)	
〃	不在者投票(衆議院議員北海道5区補欠選挙)	エイト
23日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:サッカー観戦)	ワーク
〃	就労移行支援プログラム(SST)	ワーク
〃	施設外レクリエーション(札幌市下水道科学館)	セルブ
28日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
30日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
〃	調理実習	ワーク
5月 2日	施設外レクリエーション(平岡梅林公園)	エイト
3日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:野球観戦)	おおぞら
4日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
6日	施設外レクリエーション(平岡梅林公園)	エイト
7日	施設外レクリエーション(ゆにガーデン)	ワーク
8日	春の一斉清掃(西の里広栄町内会主催)	エルフィン
〃	春の一斉清掃(西の里中央町内会主催)	陽だまり
11日	施設訪問・視察(社会福祉法人クピド・フェア)	エイト・法人本部
13日	監事監査(野村監事)	
14日	施設外レクリエーション(札幌ドーム:野球観戦)	エルフィン(自治会)
15日	施設外レクリエーション(くるるの杜)	陽だまり
17日	クリーンデー(施設構内整備運動)	エイト・印刷事業部・法人本部
18日	苦情相談委員会	
20日	監事監査(田中監事・野村監事)	
21日	就労移行支援プログラム(SST)	ワーク
〃	施設外レクリエーション(マクドナルド)	ワーク
〃	施設外レクリエーション(新千歳空港ターミナルビル)	セルブ
24日	監事監査(田中監事)	
25日	総合防災訓練(火災)	クリーナース、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
26日	就労移行支援プログラム(SST)	セルブ
28日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
〃	調理実習	ワーク

開催日	行事・事業内容
6月 2日	クリーンデー(施設構内整備運動) おおぞら、クリーナーズ、クリーニング事業部
4日	平成27年度 合同打ち上げ クリーナーズ、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
5日	札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック2016) ワーク
10日	施設外レクリエーション(イオンモール札幌平岡) エイト
13日	消防設備等立ち入り検査(北広島市消防署) クリーナーズ、おおぞら
〃	施設内レクリエーション(北広島かおり幼稚園 讃美歌発表会) エイト
14日	クリーナーズ老朽改築工事地鎮祭 クリーナーズ
〃	監事監査(田中監事)
15日	献血(北海道赤十字血液センター) 北広島全施設・法人本部
18日	調理実習 ワーク
〃	施設外レクリエーション(北海道開拓の村) セルプ
21日	施設内レクリエーション(焼肉会) 陽だまり
23日	煤払い清掃(クリーニング工場) クリーナーズ
24日	就労移行支援プログラム(SST) セルプ
25日	地域開放事業(落語会) ワーク
28日	施設外レクリエーション(イオンモール札幌平岡) エイト
29日	不在者投票(参議院議員選挙) エイト
7月 5日	リハビリ・クリーナーズ改築に係る事前調査(福祉医療機構) クリーナーズ
〃	福祉サービス第三者評価 事前説明会 エイト
〃	期日前投票(参議院議員選挙) エイト
〃	総合防災訓練(夜間) エイト
6日	施設外レクリエーション(いちご狩り) エイト
8日	施設外レクリエーション(いちご狩り) エイト
〃	平成27年度 合同打ち上げ エイト・印刷事業部・法人本部
9日	施設内レクリエーション(焼肉会) ワーク
10日	西の里広栄町内会「焼肉親睦会」(西の里さくら公園) エルフィン
16日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会) ワーク
〃	施設内レクリエーション(焼肉会) セルプ・やまはな
17日	施設外レクリエーション(小樽天狗山・小樽市総合博物館) エルフィン(自治会)
21日	苦情相談委員会
23日	就労移行支援プログラム(SST) ワーク
26日	福祉サービス第三者評価 利用者聴き取り調査 エイト
27日	会計監査人選定委員会
28日	就労移行支援プログラム(SST) セルプ
30日	施設外レクリエーション(ガスト) ワーク

開催日	行事・事業内容	
7月30日	調理実習	ワーク
8月 2日	施設内レクリエーション(近隣施設共同花火大会)	エイト(自治会)
3日 ~5日	石狩教育局初任段階教員研修 受入れ	おおぞら、エイト
5日	総合防災訓練(夜間)	エルフィン
6日	西の里中央町内会「七夕祭り」	陽だまり
13日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
20日	就労移行支援プログラム(S S T)	ワーク
21日	アンチエイジングと医療・介護のイベント参加(コムフェス2016)	ワーク
23日	福祉職場説明会への参加(北海道社会福祉協議会)	ワーク、セルフ、法人本部
25日	総合防災訓練(地震・火災)	エイト
"	就労移行支援プログラム(S S T)	セルフ
27日	施設外レクリエーション(千歳市防災学習交流センターそなえる)	ワーク
"	施設外レクリエーション(百合が原公園)	セルフ
28日	第43回ボランティア・カーニバル	
9月 1日	消防設備等立ち入り検査(北広島市消防署)	法人本部、エイト、エルフィン、陽だまり
10日	消防設備等立ち入り検査(清田消防署)	ワーク
12日	総合防災訓練(火災)	やまはな
13日	総合防災訓練(火災)	セルフ
"	施設内レクリエーション(花火大会)	エルフィン、陽だまり
14日	総合防災訓練(火災)	ワーク
17日	施設外レクリエーション(ボーリング大会)	エイト(自治会)
"	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
"	就労移行支援プログラム(S S T)	ワーク
19日	施設外レクリエーション(北海道開拓の村)	クリーナース
23日	監事監査(野村監事)	
"	北広島市西の里小学校「総合学習(車椅子体験実習)」	クリーナース、地域福祉推進室
24日	施設外レクリエーション(イオンモール札幌平岡)	ワーク
"	調理実習	ワーク
24日 ~25日	自治会旅行(旭川・富良野方面)	
25日	施設外レクリエーション(スシロー 札幌清田店)	ワーク、エルフィン、陽だまり
26日	北広島市西の里小学校「総合学習(車椅子体験実習)」	クリーナース
28日	施設外レクリエーション(旭山動物園)	陽だまり
29日	就労移行支援プログラム(S S T)	セルフ

開催日	行事・事業内容	
10月 2日	秋の一斉清掃(西の里広栄町内会主催)	エルフィン自治会
4日	障がい者就職面接会への参加	ワーク
7日	福祉避難所に係る防災資機整備調査(北広島市防災・庁舎建設課)	エイト
〃	自主避難訓練	陽だまり
8日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
12日	総合防災訓練(火災)	エイト・印刷事業部・法人本部
13日	クリーンデー(施設構内環境整備運動)	エイト・印刷事業部・法人本部
〃	苦情相談委員会	
15日	施設外レクリエーション(大滝きのご王国)	ワーク
16日	札幌市身体障がい者福祉事業連携協議会 災害時緊急避難訓練	ワーク、セルフ
〃	施設外レクリエーション(ボウリング大会(厚別パークボウル))	エルフィン自治会
17日	助成金交付承認書贈呈式(公益財団法人友友福祉振興財団)	ワーク
18日 ~20日	定期健康診断	北広島施設
22日	定期健康診断	ワーク
〃	施設外レクリエーション(カフェジッカ)	ワーク
〃	調理実習	ワーク
〃	施設外レクリエーション(札幌市青少年科学館)	セルフ
22日 ~24日	全国障がい者スポーツ大会	クリーナーズ
23日	秋の一斉清掃(西の里中央町内会主催)	陽だまり
25日	就労支援プログラム(SST)	セルフ
27日	定期健康診断	セルフ(やまはな)
28日	総合防災訓練(火災)	陽だまり
11月 3日	施設内レクリエーション(映画鑑賞会)	ワーク
5日	施設内レクリエーション(人形劇観劇(札幌国際大学 あさっち人形劇団))	ワーク
〃	働きたい女性のための合同企業説明会	エイト、法人本部
8日 ~9日	監事監査(田中監事)	
11日	永年勤続顕彰並びに資格取得者等表彰祝賀会	
18日	監事監査(野村監事)	
19日	調理実習	ワーク
〃	施設内レクリエーション(クリスマスリース作り・カラオケ・調理実習)	セルフ
22日	施設外レクリエーション(新さっぽろ水族館)	エイト
〃	税務調査(澁谷税理士)	
24日	就労支援プログラム(SST)	セルフ
29日	施設外レクリエーション(新さっぽろ水族館)	エイト

開催日	行事・事業内容	
12月 3日	施設外レクリエーション(忘年会(アサヒビール園))	エルフィン自治会
8日 ～9日	福祉サービス第三者評価 実地調査	エイト
10日	施設内レクリエーション(カラオケ大会)	エイト自治会
〃	施設外レクリエーション(ドラえもんわくわくスカイパーク)	ワーク
12日	施設内レクリエーション(人形劇観劇(札幌国際大学 あさっち人形劇団))	エイト
14日	クリーナース老朽改築工事中間検査	クリーナース
15日	施設内レクリエーション(讚美歌発表会(北広島かおり幼稚園))	エイト
〃	就労支援プログラム(S S T)	ワーク
17日	施設内レクリエーション(クリスマス会)	セルブ
19日 ～20日	会計監査人予備調査(監査法人ライトハウス)	
20日	施設外レクリエーション(クリスマス会(すたみな太郎))	陽だまり
22日	会計監査人予備調査(監査法人ライトハウス)	
〃	就労支援プログラム(S S T)	セルブ
23日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会・衣料品販売会)	ワーク
〃	調理実習	ワーク
24日	施設内レクリエーション(クリスマス会)	ワーク
28日	施設内レクリエーション(納会(利用者慰労会))	セルブ
30日	施設内レクリエーション(納会(利用者慰労会))	セルブ(やまはな)
1月 4日	仕事初めの儀	法人本部、北広島施設、札幌施設
〃	成人の祝い	
14日	新年親睦会(アサヒビール園)	おおぞら、クリーニング事業部
16日	会計監査人予備調査(監査法人ライトハウス)	
〃	福祉サービス第三者評価 実地調査	エイト
17日	苦情相談委員会	
20日	施設内レクリエーション(新年会)	エイト自治会
21日	施設外レクリエーション(イオンモール札幌平岡)	ワーク
〃	就労支援プログラム(S S T)	ワーク
〃	施設内レクリエーション(餅つき会)	セルブ
23日	北海道 運営指導監査	
24日	評議員選任・解任委員会	
26日	就労支援プログラム(S S T)	セルブ
28日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	ワーク
〃	調理実習	ワーク

開催日	行事・事業内容	
1月30日 ～2月1日	会計監査人予備調査(監査法人ライトハウス)	
2月 1日 ～15日	施設内レクリエーション(オセロ大会)	エイト自治会
2日	除雪交流会	地域福祉推進室
3日	施設内レクリエーション(節分(豆まき))	エイト、陽だまり
6日	人件費委員会	
7日	就労移行支援事業所説明会への参加	セルフ
8日	針供養	セルフ
9日	健康保険・厚生年金保険被保険者資格及び報酬等調査(日本年金機構)	法人本部
9日 ～13日	会計監査人予備調査(監査法人ライトハウス)	
18日	就労支援プログラム(S S T)	ワーク
〃	施設内レクリエーション(ポテトゴルフ・カラオケ・調理実習)	セルフ
23日	就労支援プログラム(S S T)	セルフ
25日	調理実習	
28日	クリーナーズ新工場引渡し	クリーナーズ
3月 1日	クリーナーズ新工場内覧会	クリーナーズ
1日 ～4日	定期健康診断・有機溶剤特殊健康診断	
3日	施設内レクリエーション(ひなまつり)	陽だまり
4日	施設内レクリエーション(温泉風入浴会及び食事会)	
8日	総合防災訓練(火災)	セルフ
10日	会計監査人予備調査に係る報告会	
14日	総合防災訓練(火災)	ワーク
15日 ～16日	施設外レクリエーション(ザ・ダイソー)	
16日	総合防災訓練(火災)	セルフ(やまはな)
18日	調理実習	
〃	施設内レクリエーション(ペットボトルボウリング・カラオケ・ゲーム)	セルフ
22日	監事監査(野村監事)	
〃	総合防災訓練(火災)	クリーナーズ、おおぞら、地域福祉推進室、クリーニング事業部
24日	新規施設利用者説明会	
25日	就労支援プログラム(S S T)	ワーク
30日	就労支援プログラム(S S T)	セルフ
31日	会計監査人期末棚卸立会	エイト、クリーニング事業部

6. 主な来所者（施設見学）

来所日	来 所 者	人 数
4月14日	社会福祉法人アンビシヤス 相談室すきっぷ 相談者(エルフィン)	1名
15日	札幌市生活就労支援センター ステップ 相談者・職員(やまはな)	2名
16日	社会福祉法人札幌報恩会 就業・生活相談室しんさっぽろ 相談者・保護者(クリーナース)	3名
18日	株式会社香島コンサルタント 社員(エイト)	4名
22日	札幌市生活就労支援センター ステップ 相談者・職員(やまはな)	2名
27日	社会福祉法人えぼっく きたひろしま暮らしサポートセンター ぼると 相談者・職員(クリーナース・おおぞら・エイト)	2名
28日	自衛隊札幌病院 准看護学院 2年生・教職員(おおぞら・エイト)	24名
〃	地域住民 北広島西の里地区(エイト)	1名
5月10日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 障がい者就労支援センター めーでる 相談者・職員・保護者(クリーナース)	3名
16日	社会福祉法人楡の会 相談室 きらら 相談者・保護者・職員(セルフ)	3名
17日	北海道札幌視覚支援学校 中学部 3年生・教職員(やまはな)	2名
19日	北海道真駒内養護学校 2年生・保護者・教職員(ワーク)	3名
25日	株式会社りんけい アリエッタ 相談者・職員(やまはな)	2名
6月 6日	北海道札幌養護学校 共栄分校 教職員(エイト)	1名
7日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 障がい者就労支援センター めーでる 相談者・職員(クリーナース)	2名
8日	社会福祉法人札幌療育会 相談支援事業所 ノック 相談者・職員(ワーク)	3名
〃	北海道札幌視覚支援学校 中学部 3年生・教職員(やまはな)	10名
22日	北海道札幌視覚支援学校 中学部 2年生・教職員(セルフ)	8名
7月 2日	北海道新篠津高等養護学校 2年生・保護者(エイト)	2名
5日	特定非営利活動法人スプラ 就業・生活相談室テラス 相談者・職員(クリーナース)	2名
〃	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生・教職員(やまはな)	2名
〃	特定非営利活動法人わーかーびいー ますとびいー 職員(エルフィン)	3名
7日	地域住民 札幌市清田区平岡地区(エイト)	2名
〃	北海道札幌養護学校 共栄分校 2年生・保護者・教職員(エイト)	3名
13日	NPO法人地域生活支援ネットワークサロン・北海道北見児童相談所 職員(陽だまり)	2名
15日	自衛隊札幌地方協力本部 職員(おおぞら)	2名
19日	社会福祉法人北海道社会福祉事業団 もなみ学園 3年生・教職員(おおぞら)	2名
〃	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生・教職員(エイト)	2名
21日	北海道札幌養護学校 共栄分校 1年生・保護者・教職員(エイト)	3名
〃	社会福祉法人恵庭光風会 恵庭光と風の里 職員(おおぞら)	2名
29日	北海道真駒内養護学校 教職員(ワーク)	6名

来所日	来 所 者	人 数
8月 1日	登別市中央東地区 民生委員・児童委員協議会(おおぞら・エイト)	18名
〃	北海道白樺高等養護学校 1年生・保護者・教職員(セルフ)	3名
3日	北海道中標津高等養護学校 教職員(おおぞら・エイト)	1名
4日	学校法人東日本学園 北海道医療大学 看護福祉学部 1年生・教職員(おおぞら・エイト)	9名
9日	一般社会人・千歳公共職業安定所 職員(クリーナース)	2名
10日	北海道岩見沢高等養護学校 1年生・保護者(エイト)	3名
12日	札幌市立青葉中学校 特別支援学級 2年生・保護者・教職員(セルフ)	3名
16日	一般社会人・札幌東公共職業安定所 手話通訳者(クリーナース)	2名
23日	学校法人酪農学園 酪農学園大学 教授(エイト)	2名
24日	北海道札幌視覚支援学校 中学部 3年生・教職員(やまはな)	2名
29日	一般社会人 札幌東公共職業安定所 (クリーナース)	1名
31日	北海道小樽高等支援学校 保護者・教職員(おおぞら・エイト)	37名
9月 7日	社会福祉法人札幌療育会 相談支援事業所 ノック 相談者・職員(ワーク)	3名
8日	社会福祉法人北海道リハビリー セルフさっぽろ 保護者(セルフ)	6名
13日	北広島市立西の里小学校 2年生・教職員(おおぞら・エイト)	13名
15日	北海道白樺高等養護学校 1年生・教職員 (おおぞら・エルフィン)	20名
〃	特定非営利活動法人わーかーびいー ますとびいー 職員 (エルフィン)	3名
16日	北海道新篠津高等養護学校 保護者・教職員 (おおぞら・エイト・エルフィン)	29名
20日	北海道札幌聾学校 保護者・教職員(おおぞら・エイト)	32名
22日	一般社会人 千歳公共職業安定所 夕張出張所 (クリーナース)	1名
23日	株式会社りんけい アリエッタ 相談者・職員(やまはな)	15名
26日	北海道白樺高等養護学校 1年生・教職員 (おおぞら・エイト・エルフィン)	21名
28日	社会福祉法人わかば会・社会福祉法人厚生協会 職員(エイト)	2名
〃	北海道札幌市立豊明高等養護学校 1年生・教職員(やまはな)	11名
10月14日	北海道札幌高等養護学校 2年生・保護者(エイト)	2名
15日	学校法人東日本学園 北海道医療大学 看護福祉学部 3年生 (陽だまり)	2名
18日	北広島市立東部中学校 特別支援学級 3年生・教職員(おおぞら)	4名
〃	千歳市立千歳中学校 特別支援学級 2年生・保護者・教職員(エイト)	4名
19日	社会福祉法人報恩会 就業・生活相談室しんさっぽろ 職員(おおぞら)	2名
28日	恵庭市 民生委員・児童委員連絡協議会 障害者部会(おおぞら・エイト)	14名
〃	北海道札幌視覚支援学校 1年生・教職員(セルフ)	9名
11月 1日	株式会社ほくでんアソシエ 社員(エイト)	6名
4日	北海道札幌視覚支援学校 2年生・保護者・教職員(おおぞら・エイト)	4名

来所日	来 所 者	人 数
11月14日	北海道北広島西高等学校 1年生・教職員(おおぞら・エイト)	167名
〃	北海道新篠津高等養護学校 2年生・保護者(エイト)	3名
15日	北海道北広島西高等学校 1年生・教職員(おおぞら・エイト)	126名
16日	一般社会人・北広島市職員(エイト)	8名
17日	社会福祉法人白老宏友会 職員(法人本部)	3名
22日	北海道伊達高等養護学校 2年生・保護者(セルフ)	2名
24日	北海道南幌養護学校 高等部 2年生・保護者(エイト)	3名
12月 2日	北海道新篠津高等養護学校 保護者(ワーク)	2名
6日	社会福祉法人北ひろしま福祉会 北広島デイサービスセンター 利用者・職員(エイト)	20名
12日	一般社会人 札幌東公共職業安定所(エイト)	1名
15日	北海道夕張高等養護学校 保護者・教職員(ワーク)	3名
20日	北海道夕張高等養護学校 1年生・保護者・教職員(セルフ)	6名
22日	北海道新篠津高等養護学校 2年生・保護者(エルフィン)	2名
1月 5日	北海道新篠津高等養護学校 1年生・保護者(エイト)	2名
6日	北海道岩見沢高等養護学校 1年生・保護者・教職員(エイト)	3名
〃	北海道千歳高等支援学校 2年生・北広島市立大曲中学校 特別支援学級 3年生・保護者(セルフ)	3名
7日	北海道新篠津高等養護学校 2年生・保護者(エイト)	4名
10日	北海道岩見沢高等養護学校 1年生・保護者・教職員(ワーク)	3名
12日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生・保護者(セルフ)	2名
13日	北海道新篠津高等養護学校 1年生・保護者(エイト)	2名
〃	北海道札幌養護学校 2年生・保護者(ワーク)	2名
2月 7日	北海道小樽高等支援学校 3年生・教職員(エイト)	2名
10日	札幌幌南ロータリークラブ(おおぞら・エイト)	15名
13日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生(エルフィン)	2名
3月 6日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生(エルフィン)	2名
13日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生(エルフィン)	2名
25日	北海道新篠津高等養護学校 2年生・保護者(エルフィン)	2名
27日	北広島市立西の里小学校 陽香分校 5・6年生・教職員(おおぞら・エイト)	5名
〃	北海道小樽高等支援学校 2年生・保護者(おおぞら・エイト)	3名
28日	北海道札幌高等養護学校 1年生・保護者(エイト)	3名
29日	北海道白樺高等養護学校 1年生・保護者(おおぞら・エイト)	4名
合 計		802名

7. 職場実習（受入れ）

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
4月 5日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 1年生	セルフ	1名
25日～29日	一般社会人	おおぞら	1名
5月 2日～ 6日	北海道リハビリー 陽だまり 利用者	クリーナース	1名
10日～13日	一般社会人	クリーナース	1名
16日～27日	北海道夕張高等養護学校 3年生	セルフ	1名
19日～24日	一般社会人	クリーナース	1名
19日～31日	一般社会人	クリーナース	1名
23日～27日	一般社会人	エイト	1名
6月 12日～18日	一般社会人	エルフィン	1名
13日～17日	一般社会人	おおぞら	1名
〃	札幌市立清田中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	1名
20日～27日	北海道高等聾学校 2年生	おおぞら	1名
20日～7月8日	北海道小樽高等支援学校 3年生	エイト	1名
27日	学校法人吉田学園 専門学校北海道リハビリテーション大学校 3年生	エイト	2名
27日～7月1日	札幌市立月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	2名
〃	札幌市立北野中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	2名
7月 4日～ 8日	札幌市立真栄中学校 特別支援学級 3年生	ワーク	1名
〃	北海道札幌高等養護学校 3年生	セルフ	1名
〃	学校法人北海道科学大学 北海道薬科大学 2年生	セルフ	1名
〃	札幌市立八条中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	2名
11日～15日	国立大学法人 北海道教育大学 教育学部 岩見沢校 3年生	クリーナース	1名
20日	苫小牧市立緑陵中学校 2年生	エイト	4名
8月 1日～ 3日	北海道雨竜高等養護学校 2年生	セルフ	1名
1日～ 5日	北海道新篠津高等養護学校 2年生	エイト	1名
2日～ 3日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生	セルフ	1名
8日～12日	学校法人北海道星槎学園 道都大学 4年生	クリーナース	1名
〃	学校法人札幌大谷学園 札幌大谷大学 3年生	クリーナース	1名
15日～19日	学校法人千歳科学技術大学 3年生	エイト	2名
17日～19日	学校法人北海道星槎学園 道都大学 3年生	エイト	1名
22日～26日	学校法人浅井学園 北翔大学 2年生	クリーナース	1名
〃	一般社会人	おおぞら	1名

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
8月 29日	一般社会人	おおぞら	1名
29日～9月2日	国立大学法人 北海道大学 3年生	クリーナース	1名
〃	学校法人鶴岡学園 北海道文教大学 2年生	エイト	2名
29日～9月9日	北海道札幌稲穂高等支援学校 3年生	セルフ	1名
9月 1日	北広島市立西の里中学校 2年生	おおぞら	2名
〃	北広島市立西の里中学校 特別支援学級 2年生	エイト	1名
1日～ 7日	一般社会人	クリーナース	1名
8日	北広島市立大曲中学校 特別支援学級 1～3年生・教職員	おおぞら	15名
12日～14日	北海道リハビリ 陽だまり 利用者	クリーナース	1名
12日～23日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	エイト	1名
12日～10月7日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	セルフ	1名
15日	北海道真駒内養護学校 2年生	ワーク	1名
15日～16日	北海道札幌養護学校 共栄分校 2年生	エイト	1名
26日～10月7日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
〃	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生	セルフ(やまはな)	1名
30日	北広島市立西の里小学校 2年生	エイト	12名
10月 3日～ 7日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 3年生	おおぞら	1名
3日～14日	学校法人池上学園 池上学院グローバルアカデミー専門学校 2年生	エイト	1名
〃	北海道白樺高等養護学校 3年生	セルフ	1名
3日～31日	一般社会人	おおぞら	1名
4日～ 8日	一般社会人	クリーナース	1名
17日～21日	北海道高等聾学校 1年生	エイト	1名
20日～26日	北広島市立東部中学校 特別支援学級 3年生	おおぞら	3名
27日	北海道真駒内養護学校 1年生	ワーク	1名
11月 17日	札幌市立羊丘中学校 2年生	セルフ	3名
22日	札幌市立東月寒中学校 2年生	セルフ	3名
22日～25日	一般社会人	おおぞら	1名
28日～12月2日	札幌市立東月寒中学校 特別支援学級 3年生	セルフ	1名
12月 8日～ 9日	北海道リハビリ 陽だまり 利用者	おおぞら	1名
19日～24日	一般社会人	クリーナース	1名
22日～1月11日	北海道新篠津高等養護学校 生活園芸課 2年生	おおぞら	1名
22日～1月13日	北海道新篠津高等養護学校 生活園芸課 2年生	おおぞら	1名
26日～29日	北海道新篠津高等養護学校 2年生	ワーク	1名

実習日	実 習 者	実習施設	人 数
1月 6日	北海道札幌視覚支援学校 2年生	エイト	1名
10日～11日	北海道千歳高等支援学校 2年生	セルフ	1名
10日～12日	北海道新篠津高等養護学校 生活園芸課 2年生	おおぞら	1名
10日～13日	北海道札幌稲穂高等支援学校 3年生	セルフ	1名
〃	北海道夕張高等養護学校 3年生	セルフ	1名
10日～17日	一般社会人	クリーナース	1名
16日～17日	北海道札幌市立豊明高等養護学校 2年生	セルフ(やまはな)	1名
23日～26日	北海道リハビリ 陽だまり 利用者	おおぞら	1名
30日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生	セルフ	1名
2月 1日～ 7日	一般社会人	おおぞら	1名
6日～17日	北海道伊達高等養護学校 2年生	セルフ	1名
11日・25日 3月11日・25日	北海道新篠津高等養護学校 2年生	おおぞら	1名
13日～3月24日	学校法人札幌国際大学 札幌国際大学 短期大学部 幼児教育保育学科 1年生	ワーク	7名
3月 3日～14日	学校法人池上学園 池上学院グローバルアカデミー専門学校 2年生	エイト	1名
6日～ 7日	一般社会人	セルフ	1名
25日～4月6日	北海道新篠津高等養護学校 生活園芸課 2年生	おおぞら	1名
27日～29日	北海道札幌稲穂高等支援学校 2年生	セルフ	1名
27日～30日	北海道新篠津高等養護学校 生活園芸課 2年生	おおぞら	1名
27日～31日	北海道高等聾学校 2年生	セルフ(やまはな)	1名
27日～4月5日	北海道新篠津高等養護学校 生活園芸課 2年生	おおぞら	1名
合 計			131名

8. 施設設備整備実施報告

8-1 実施状況総括表

(1) リハビリリー・クリーナーズ

金額単位：千円(税抜)

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	1,054,636	3	1,073,739	101.8	2	108,700	5	1,182,439

(2) リハビリリー・おおぞら

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	26,500	3	19,950	75.3			3	19,950

(3) リハビリリー・エイト

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	18,200	3	13,200	72.5	1	6,257	4	19,457

(4) 札幌ワークセンター

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	15,000	1	9,250	61.7			1	9,250

(5) セルプさっぽろ

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
1	3,500						0	0

(6) エルフィンホーム

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(7) 陽だまり

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(8) ポプルス

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
0	0						0	0

(9) その他(クリーニング事業部、印刷事業部)

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
3	8,800	2	5,850	81.3%			2	5,850

(10) 総計

年度計画		計画に対する実施			計画外追加事業		総実施事業	
件数	総事業費	件数	実施金額	実施率	件数	実施金額	件数	実施金額
14	1,126,636	12	1,121,989	99.6%	3	114,957	15	1,236,946

<内補助金>

1	75,214							
---	--------	--	--	--	--	--	--	--

※ 随意契約によることができる基準額(工事:250万円、物品:160万円)を超える実施事業

8-2 事業所別実施状況

(1) リハビリター・クリーナース

< 改造・改修 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
リハビリター・クリーナースの老朽改築 ※	972,698	998,523	0	2月
リハビリター・クリーナースの老朽改築に係る解体撤去工事※	15,938	11,516	0	8月
改造・改修 合計	988,636	1,010,039	0	102.2% (実施率)

※下表参照

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
大型乾燥機(7台)の更新 ※	66,000	63,700	0	3月
更新事業 合計	66,000	63,700	0	96.5% (実施率)

※下表参照

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリター・クリーナース) 合計	1,054,636	1,073,739	0	101.8%

< 計画外 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
リハビリター・クリーナースの老朽改築に係るアスベスト除去工事	—	2,400		8月
リハビリター・クリーナースの老朽改築に係る機械更新、移設工事一部	—	106,300		3月
計画外事業 合計	—	108,700		—

< クリーナース老朽改築事業 落札決定額 >

単位：千円(税抜)

	建設費	解体撤去費	機器備品費	移設費	合計
平成28年度	998,523	11,516	164,790	5,210	1,180,039
平成29年度	31,557	15,404	13,680	92,320	152,961
小計	1,030,080	26,920	178,470	97,530	1,333,000
平成29年度	45,100	※入札未実施(予算額)			
合計	1,075,180	26,920	178,470	97,530	1,378,100

※建設費及び解体撤去費は、当初予算額を上回ったため、予算額29,900千円を増額した。

(2) リハビリー・おおぞら

< 改造・改修 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
スポットクーラーの増設	7,500	5,600		6月
改造・改修 合計	7,500	5,600		74.7% (実施率)

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
小型乾燥機の更新(集塵機導入含む)	9,000	7,000		7月
全自動水洗脱水機の更新	10,000	7,350		9月
更新事業 合計	19,000	14,350		75.5% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリー・おおぞら) 合計	26,500	19,950		75.3%

(3) リハビリー・エイト

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
EdianWingサーバー機の更新	2,700	2,150		9月
モノクロオンデマンド印刷機の更新	9,900	6,450		9月
更新事業 合計	12,600	8,600		68.3% (実施率)

< 新規 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
カラー複合機の新規導入	5,600	4,600		5月
新規事業 合計	5,600	4,600		82.1% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(リハビリー・エイト) 合計	18,200	13,200		72.5%

< 計画外 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
印刷業経営管理システム(販売管理ソフトウェア等)の導入事業	—	6,257		2月
計画外事業 合計	—	6,257		—

(4) 札幌ワークセンター

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
給湯・暖房用ボイラーの更新	15,000	9,250	0	10月
更新事業 合計	15,000	9,250	0	61.7% (実施率)

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(札幌ワークセンター) 合計	15,000	9,250	0	61.7%

(5) セルプさっぽろ

< 新規 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
送迎用車両の新規購入 ※	3,500		3,500	
新規事業 合計	3,500	0	3,500	0.0% (実施率)

※財団法人JKAの平成29年度補助金を活用することとして見送った。

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(セルプさっぽろ) 合計	3,500	0	3,500	0.0%

(9)-1 その他(クリーニング事業部)

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
売上管理ソフトウェアの更新	3,800	3,070	0	11月
集配車両の更新	3,400	2,780	0	7月
更新事業 合計	7,200	5,850	0	81.3% (実施率)

(9)-2 その他(印刷事業部)

< 更新 >

単位：千円(税抜)

事業	予算計上額	実施額	未実施額	完了
営業車両の更新	1,600		1,600	
更新事業 合計	1,600	0	1,600	0.0% (実施率)

※現有車両で少時走行(使用)が可能であると判断し、見送った。

< 合計 >

単位：千円(税抜)

	予算計上額	実施額	未実施額	実施率
(その他) 合計	8,800	5,850	1,600	66.5%

9. 組織図



10. 利用者等状況報告

10-1 利用者・従業員数

(平成29年 3月31日)

	利 用 者								従 業 員(内福祉事業職員)					合 計	
	生活介護	就労移行	就労継続A型	就労継続B型	施設入所	共同生活援助	児童自立生活援助	小計	(前年度比)	正職員	嘱託職員	契約職員	小計		(前年度末比)
(1) リハビリ・クリーナース			14	28				42	3	22 (8)	1 (0)	17 (3)	40 (11)	-3 (-1)	82
(2) リハビリ・おおぞら		6	37	67				110	2	37 (15)		22 (7)	59 (22)	-5 (1)	169
(3) リハビリ・エイト	45	2		31	40			118	-4	54 (28)		11 (0)	65 (28)	-1 (-2)	183
(4) 札幌ワークセンター	67			15	30			112	2	12 (12)	1 (1)	13 (13)	26 (26)	4 (4)	138
(5) セルプ さっぽろ		8	5	92				105	1	13 (13)	1 (1)	9 (8)	23 (22)	4 (4)	128
(6) エルフィンホーム						27		27	1	2 (2)			2 (2)	0 (0)	29
(7) 陽だまり							2	2	0		1 (1)	1 (1)	2 (2)	0 (0)	4
(8) ポプルス													0 (0)	-1 (-1)	0
(9) 法人本部										3 (3)	1 (1)		4 (4)	0 (0)	4
総 計	112	16	56	233	70	27	2	516	5	143 (81)	5 (4)	73 (32)	221 (117)	-2 (5)	737
(前年度比)	5	6	1	-8	0	1	0	5		10 (5)	2 (2)	14 (2)	-2 (5)		3

- 備考 1 利用者数は、サービス利用契約に基づく、サービス別の提供者数で計算している。
- 2 施設入所、共同生活援助、児童自立生活援助は、夜間等の支援のため、日中活動及び従業員数の人数に重複している。
- 3 パート職員は、156名(クリーナースのクリーニング取次店要員及びおおぞらのハウスキーパー等を含む。)